豊島区図書館経営協議会（令和元年度第２回）次第

１．日　時　　令和元年１１月２２日（金）　午後６時から

２．場　所　　豊島区立中央図書館　会議室

３．議　題

（１）令和元年度豊島区立図書館（指定管理館）利用者満足度調査結果について
（２）豊島区図書館基本計画平成 30 年度進捗状況について
（３）豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）平成 30 年度進捗状況について
（４）豊島区子ども読書活動推進計画（第四次）・豊島区図書館基本計画策定スケジュールについて
（５）図書館システム更改に伴う休館日の延長について
（６）その他

４．会議資料

資料２－１：令和元年度豊島区立図書館利用者満足度調査結果について
資料２－２：豊島区立図書館基本計画平成３０年度進捗状況
資料２－３：豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）平成 30 年度進捗状況
資料２－４：豊島区子ども読書活動推進計画（第四次）・豊島区図書館基本計画策定スケジュール
資料２－５：図書館システム更改に伴う年始休館日の延長について

５．配布資料

・図書館通信５４号

令和元年度豊島区立図書館（指定管理館）利用者満足度調査結果について

1．調査の目的

利用者ニーズを的確に把握し、サービス向上に努めるため

2．実施期間

豊島区立駒込・上池袋図書館：令和元年10月2日（水）～10月31日（木）
豊島区立池袋・目白図書館：令和元年10月1日（火）～10月31日（木）

3．対象施設

豊島区立駒込図書館　（指定管理期間：H28.4.1～R3.3.31）
豊島区立上池袋図書館　（指定管理期間：H28.4.1～R3.3.31）
豊島区立池袋図書館　（指定管理期間：H29.4.1～R2.3.31）
豊島区立目白図書館　（指定管理期間：H29.4.1～R3.3.31）
※指定管理者　名称：株式会社図書館流通センター　所在地：文京区大塚三丁目1番1号

4．利用状況（各年9月末現在）

館名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
駒込 S56.8開館 H28.4改修	来館者数	81,326名	100,922名	104,396名	109,034名
	登録者数	8,449名	9,326名	10,980名	12,015名
	貸出数	100,735点	122,519点	130,161点	131,604点
	開館日	151日	169日	169日	169日
上池袋 H5.7開館 H35改修予定	来館者数	95,727名	99,171名	90,634名	93,575名
	登録者数	7,522名	7,816名	7,888名	7,924名
	貸出数	99,046点	104,019点	102,751点	103,523点
	開館日	169日	169日	169日	169日
池袋 S61.5開館 H32改修予定	来館者数	81,478名	94,220名	91,971名	91,705名
	登録者数	7,766名	8,129名	8,432名	8,841名
	貸出数	99,734点	110,307点	105,707点	108,140点
	開館日	146日	169日	169日	169日
目白 S56.7開館 H20.9改修	来館者数	102,215名	113,723名	109,681名	115,613名
	登録者数	9,050名	9,226名	9,333名	9,335名
	貸出数	148,139点	144,783点	145,700点	147,669点
	開館日	147日	170日	169日	169日

※平成28年度の池袋と目白は、区による運営

5．実施方法

・アンケート用紙の館内存置及びカウンターでの手渡し
・回収は館内設置回収箱への投函方式
・配布枚数等

区分	配布枚数	有効回収数	有効回収率
駒込	300枚	188枚	62.7%
上池袋	337枚	213枚	63.2%
池袋	137枚	137枚	100.0%
目白	210枚	101枚	48.1%

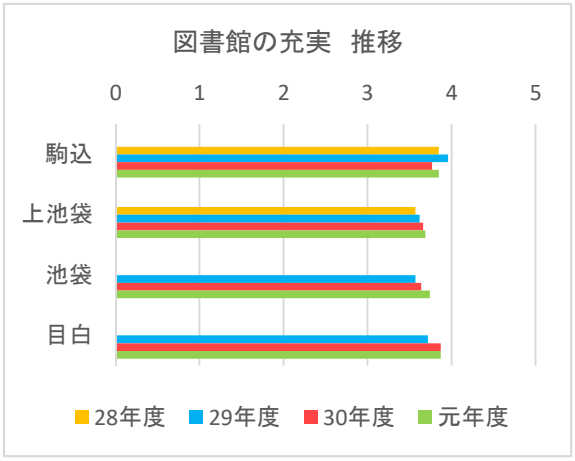
6. 評価（推移）

※評価基準：5段階（5：満足　3：ふつう　1：不満）

①図書館の充実

図書館資料や各コーナー・閲覧席等の充実度

区　分	28年度	29年度	30年度	元年度
駒込	3.85	3.96	3.77	3.85
上池袋	3.57	3.62	3.66	3.69
池袋	―	3.57	3.64	3.74
目白	―	3.72	3.87	3.87



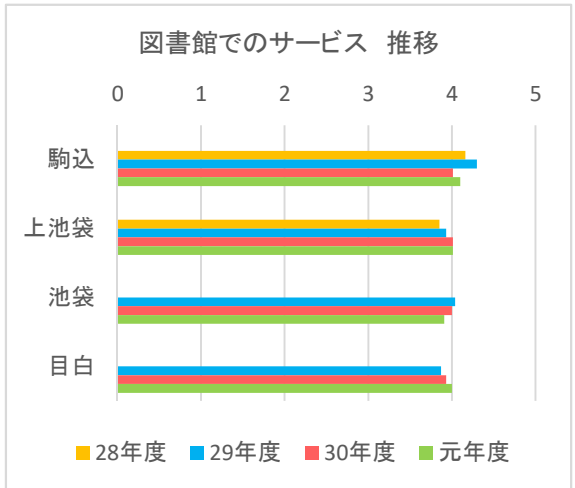
<元年度項目別評価>　　※4以上は

項目		駒込	上池袋	池袋	目白	平均
図書館の充実	図書館の雰囲気	4.36	4.11	4.04	4.25	4.24
	閲覧席の充実度	3.61	3.61	3.52	3.89	3.61
	図書館の空調	4.10	3.82	3.71	4.08	3.96
	図書館の清掃状態	4.42	4.10	4.06	4.24	4.26
	図書館機器の充実度	3.85	3.66	3.78	3.94	3.76
	図書館の安全対策	3.84	3.75	3.83	3.97	3.80
	本・新刊書の充実度	3.46	3.32	3.44	3.49	3.39
	雑誌・新聞コーナーの充実度	3.58	3.39	3.50	3.52	3.49
	図書館行事の充実度	3.63	3.48	3.61	3.64	3.56
	書架の状態	3.71	3.63	3.86	3.68	3.67
	館内掲示（お知らせ、お願い）	3.78	3.68	3.80	3.89	3.73
	平均	3.85	3.69	3.74	3.87	3.77

②図書館でのサービス

接遇やレファレンス、開館時間・開館日等の満足度

区　分	28年度	29年度	30年度	元年度
駒込	4.16	4.30	4.01	4.10
上池袋	3.85	3.93	4.01	4.01
池袋	―	4.04	4.00	3.91
目白	―	3.87	3.93	4.00

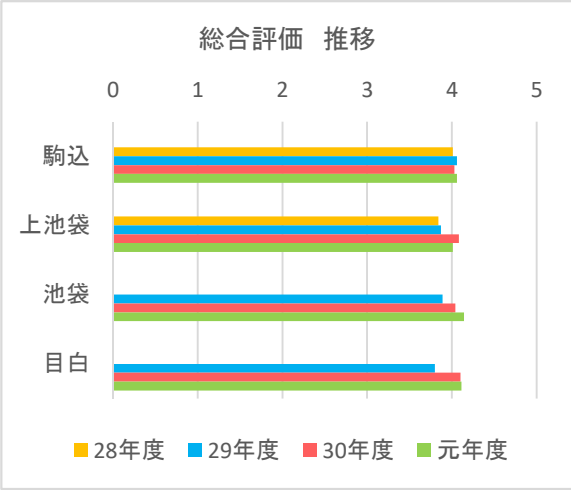


<元年度項目別評価>　　※4以上は

項目		駒込	上池袋	池袋	目白	平均
図書館でのサービス	職員の接遇や対応	4.43	4.38	4.44	4.40	4.41
	平日の開館時間	4.58	4.35	4.51	4.51	4.47
	開館日の増	4.43	4.39	4.56	4.71	4.41
	ホームページ	4.14	3.88	4.04	3.56	4.01
	図書館だより・通信	3.85	3.95	3.52	―	3.90
	レファレンス	4.39	4.44	4.11	4.17	4.42
	館内展示（特集）	3.88	3.76	3.95	3.98	3.82
	赤い鳥資料室	―	―	―	4.00	4.00
	TRC豊島電子図書館	3.73	3.71	3.38	3.80	3.72
	Wi-Fi無料サービス	3.94	4.29	―	―	4.12
	書籍消毒機	4.00	―	4.04	4.12	4.00
	デジタルサイネージ	3.92	―	3.55	3.86	3.92
	入口付近のエアアロマ	―	3.34	―	―	3.34
	雑誌コーナー付近の自然音	―	3.62	―	―	3.62
	ペッパー	―	―	3.19	3.60	3.40
	読書通帳機	―	―	3.79	3.33	3.56
	区民集会室活用事業	―	―	3.69	3.95	3.82
	ｿﾒｲﾖｼﾉﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ ｼｮｰｹｰｽ	3.87	―	―	―	3.87
	さくらコンシェルジュ	4.25	―	―	―	4.25
	さくらデジタルコレクション	4.33	―	―	―	4.33
	座席管理システム	3.76	―	―	―	3.76
	平均	4.10	4.01	3.91	4.00	4.06

③総合評価

区　分	28年度	29年度	30年度	元年度
駒込	4.01	4.06	4.03	4.06
上池袋	3.84	3.87	4.08	4.01
池袋	―	3.89	4.04	4.14
目白	―	3.80	4.10	4.11



豊島区立図書館基本計画

平成２９年度～令和２年度

（２０１７～２０２０）

平成 30 年度 進捗状況

令和元（2019）年１０月

豊　島　区

目　　次

第１部　計画の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

１．計画の目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
２．計画期間及び位置づけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第２部　計画の実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

１．指標・目標値 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（１）指標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（２）目標値 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
２．計画事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
（１）蔵書の構築事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
（２）図書館サービス事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
（３）施設管理運営事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

第1部　計画の概要

1.　計画の目的

本計画は、文部科学省が平成 24 年に改正した「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成 24 年文部科学省告示第 172 号。以下「望ましい基準」という。）」において公立図書館が策定するように努めるものとされた「基本的運営方針及び事業計画」に準ずる計画として位置付けるとともに、「豊島区基本計画」の施策目標の実現に向けて、先に策定しました「豊島区教育ビジョン 2015(平成 27 年 3 月)」、「豊島区生涯学習推進計画（平成 22 年 10 月）」並びに「豊島区子ども読書活動推進計画＜第三次＞（平成 28 年 5 月）」の理念と整合性を図りつつ、区民全体の読書活動の推進及び地域の学習・情報拠点として、今後、区立図書館が区民に果たしていく役割や取り組むべき事業を明確にすることを目的とします。

2.　計画期間及び位置づけ

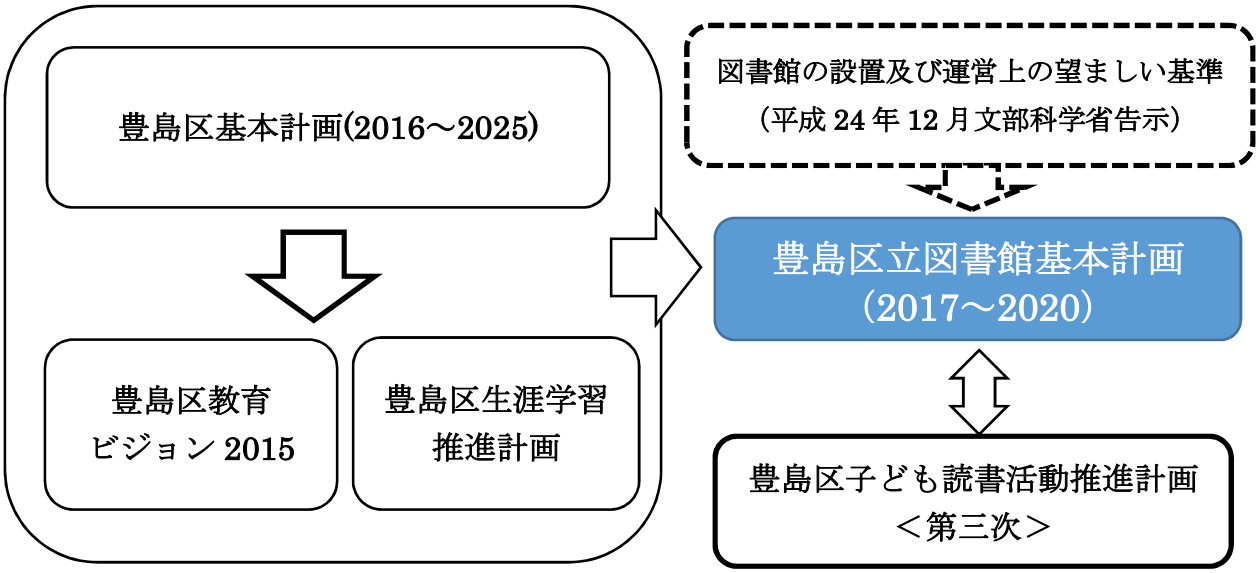
（1）期　間

平成 29 年度から令和 2 年度（2017～2020 年度） 4 年間
（豊島区子ども読書活動推進計画＜第三次＞期間に合わせる）

（2）計画の位置づけ

○ 「伝統・文化と新たな息吹が融合する魅力を世界に向けて発信するまち」の実現を目指す、豊島区基本計画の「生涯学習・生涯スポーツの推進」分野の計画として位置付けます。

○ 「望ましい基準」における「基本的運営方針及び事業計画」に準ずる計画として位置付けます。



第2部　計画の実施状況

1．指標・目標値

基本理念を達成させるべき具体的な指標・目標値を区立図書館全体で数値設定し、豊島区子ども読書活動推進計画の事業期間に合わせた事業期間内（平成29年度から令和2年度までの4年間）に達成すべき実施事業について事業計画を策定します。

（1）指　標

基本理念である「子どもから大人まで、知的好奇心を満足させる図書館～区民の学習・情報センターとして～」を達成するための指標は以下のとおりとします。

① 図書館運営に関する数値

来館者数、貸出冊数、登録者数、蔵書数

② 事業に関する数値

団体貸出数（幼稚園、小学校、中学校、区民ひろば）、読み聞かせ数

電算化（パソコン、タブレット端末、電子図書）

（2）目標値

【図書館運営に関する目標値】

指標	平成27年度［基準値］		平成30年度		令和2年度［目標値］	
	全体図書館	中央図書館	全体図書館	中央図書館	全体図書館	中央図書館
来館者数（人）	1,770,634	844,604	1,996,087	820,079	1,908,000	910,000
貸出冊数（冊）	2,013,422	693,026	2,261,768	623,954	2,169,000	747,000
登録者数（人）	113,504	59,986	116,602	58,821	122,000	65,000
蔵書数（冊）	764,369	260,952	809,110	274,794	823,000	281,000

＊指標に対する目標値を、平成27年度の数値を基準とし、直近3か年の豊島区の人口増加率の平均値である1.5%を伸び率として設定します。

＊貸出冊数にはひかり文庫・相互協力及び団体貸出を含む。

＊登録者数にはひかり文庫及び団体登録を含む。

＊蔵書数には点字図書を含む。

【事業に関する目標値】

指標	平成27年度［基準値］		平成30年度		令和2年度［目標値］	
	全体図書館	中央図書館	全体図書館	中央図書館	全体図書館	中央図書館
団体貸出：児童（冊）	48,135	6,763	64,160	9,416	52,000	7,300
団体貸出：YA（冊）	745	380	1,350	286	800	410
団体貸出：区民ひろば（冊）	0	0	6,802	1,650	100	50
講座・講演会（回）	30	21	81	30	32	23
映画会（回）	21	0	23	1	23	0
パソコン設置数（台）	10	10	10	10	40	10
タブレット端末設置数（台）	0	0	0	0	21	3
電子図書資料数（冊）	3,401	0	6,568	0	50,000	0
電子図書館登録者数（人）	144	0	513	0	10,000	0

2. 計画事業

(1)蔵書の構築事業

番号	事業名	事業内容	実施計画	実施状況(30年度)	31年度以降の実施予定
1	新ホール関連事業推進 ＊新ホール: 庁舎跡地エリアに建設するホール	新ホールでの公演内容に関連した図書資料の充実及び展示を行い、利用者の拡大を図ります。	全図書館 随時	・新規蔵書数　434冊 ・展示等	継続実施
2	オリンピック・パラリンピック 関連事業推進	2020年東京オリンピック・パラリンピックの普及活動に合わせ、関連図書の充実及び展示を行います。	全図書館 随時	・新規蔵書数　807冊 ・展示等 【全館】 「としまスポーツ応援団～東京でおもてなし56年ぶりの夢」統一展示 【中央】 関連本コーナー設置(常設)	継続実施
3	文化振興事業関連事業推進 ＊国際アート・カルチャー都市: 「文化戦略」、「国際戦略」、「空間戦略」の3つ戦略で目指す文化都市	区が実施している池袋西口回遊美術館事業やアニメ事業に関連する図書を事業期間に合わせて展示するとともに、国際アート・カルチャー都市関連資料等の図書の充実を図ります。	全図書館 随時	・新規蔵書数　2,274冊 ・展示等 【中央】 としまフォトコンテスト としまコミュニティ大学 フラフェスタ アート夏祭り ランチタイムコンサート 東アジア文化都市 東京芸術祭 フェスティバル東京 東京アニメアワードフェスティバル 【池袋】 池袋西口回遊美術館参加　読書感想画展	継続実施
4	豊島区関連本の蔵書事業	豊島区ゆかりの図書の充実を図り、図書を身近なものとして感じると同時に、地域に興味を持ってもらいます	全図書館 随時	・新規蔵書数　242冊 ・講座等 【駒込】 ソメイヨシノ誕生と染井の植木屋 さくら名所ツアー 【池袋】 江戸川乱歩コーナー ギャラリートーク「乱歩と池袋」 【目白】 赤い鳥おはなし会:朗読、紙芝居 「赤い鳥」関連資料特別展示	継続実施
5	東アジア文化都市 関連事業推進 ＊東アジア文化都市 日中韓3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を毎年各国1都市選定する。	2019年の東アジア文化都市認定に向け、事業の関連図書の充実及び展示を行います。	全図書館 年1回	・新規蔵書数　843冊 ・展示等 【中央】 東アジア文化都市 4階東アジア文化都市展示 5階日本の伝統芸能展示 【上池袋・目白】 東アジア関連図書展示 【千早】 中国の絵本の展示(児童)	継続実施

（2）図書館サービス事業

【貸出サービスの充実事業】

番号	事業名	事業内容	実施計画	実施状況(30年度)	31年度以降の実施予定
6	大活字本の活用事業	区民ひろば事業や銭湯で実施されている事業など高齢者を対象にした事業に合わせ、図書ネット便活用による大活字本の団体貸出を行い、利用拡大を図ります。	全図書館 随時	・区民ひろば団体貸出の実施 （区民ひろば　12施設） ・貸出冊数　309冊	31年度には区民ひろば全施設で実施
7	図書ネット便による団体貸出事業 *図書ネット便 区内六大学・区民ひろばへの図書の配送・回収等の定期物流便「図書館ネットワーク便」の通称	区内六大学への図書資料、区民ひろばへの団体貸出セットの配送・回収を定期便の運行により、貸出を促進します。	全図書館 随時	・区民ひろば団体貸出本格実施　12施設 （朋有・南池袋・高南第一・駒込・朝日・池袋本町・豊成・池袋・高松・椎名町・千早・要）	継続実施
8	他施設への団体貸出事業	区民ひろばでの実施事業や銭湯等を活用する事業に対して関連本の紹介・貸出を行います。	全図書館 随時	【区民ひろば】 ・H30年度12施設で実施	31年度には全施設で実施
9	電子図書の活用事業	電子図書の蔵書数を増やし、電子図書館登録数を増やすなど電子図書館の普及・促進を図ります。	指定管理館 随時	・指定管理館の実績 登録者数　513人 電子図書点数　6,568点 電子図書貸出件数　448件 電子図書閲覧件数　2,713回	継続実施
10	タブレット端末の貸出事業	電子図書を閲覧できるサービスを普及させるため、タブレット端末の貸出を行います。	全図書館 設置	未実施	【指定管理館】 31年度実施に向けて調整中
11	ブックリストの作成	課題別のブックリストを作成し、利用者の貸出を促進させます。	全図書館 随時	【中央】 ・健康情報図書リストの作成（13項目、27件） 「女性の健康　食育・栄養」「心の健康」 「健康ウォーキング」 「インフルエンザ・食中毒」 「感染症」「アレルギー」 「世界禁煙デー・世界COPDデー」 「がんの予防・健診・治療」「歯と口の健康」 「生活習慣病と検診」「介護予防・認知症」 「高次脳機能障害」、「世界エイズデー」 「子どもの事故防止」 ・一般特集展示ブックリスト37件	継続実施
12	開館時間外での予約資料貸出事業	開館時間前に予約資料の受取りをできるようにして利用者の利便性向上を図ります。	駒込図書館	【駒込】 受取件数　721件 返却件数　552件	継続実施

【情報サービスの充実事業】

番号	事業名	事業内容	実施計画	実施状況(30年度)	31年度以降の実施予定
13	地域情報の収集・発信事業	地域イベント情報等を収集・発信するなど、図書館に来れば地域情報が分るようにすることで、新たな利用者の拡大を図ります。	全図書館 随時	・掲示・講座等 【中央】 1階エレベータ横に資料ラック設置 4階・5階展示コーナー、トキワ荘コーナー 【駒込】 掲示コーナーによる情報発信 ショーケース展示による情報発信 ソメイヨシノ誕生と染井の植木屋 さくらウィーク3周年記念事業 さくら名所ツアー さくらデジタルコレクション公開 子育てネットワーク会議（全3回） 【巣鴨】 階段掲示板、2階チラシスタンド等で周知 【上池袋】 上池袋さくら公園さくらまつり 子育てネットワーク会議（全3回） 【池袋】 ペッパーによる地域名所案内 デジタルサイネージで地域イベント案内 子育てネットワーク会議（全2回） 安全浄化パトロール 【目白】 ペッパーによる地域名所案内 デジタルサイネージで地域イベント案内 子育てネットワーク会議（全4回） 目白アート散歩 【千早】 玄関掲示板、スタンド等で通知	継続実施
14	豊島区交流都市情報の提供事業	姉妹都市である埼玉県秩父市をはじめ、豊島区と交流のある都市の観光、イベント情報など関連資料を提供します。	中央図書館 随時	【駒込】 全国さくらサミット	全国さくらサミット
15	電子資料の作成・配信事業	伝統芸能等の地域資料や各図書館の特色ある資料を電子化し発信します。電子化した資料は、地域文化資産ポータルに登録し公開します。	指定管理館 随時	【駒込】 豊島区立図書館　さくらデジタルコレクション　ICT化事業 さくらデジタルコレクション公開 （内容）ソメイヨシノ発祥の地　駒込・染井 駒込周遊 全国さくらサミット 豊島区の遺跡・歴史・民話（紙芝居） ぬり絵体験	継続実施
16	『図書館通信』発行事業	図書に関する時事的話題、図書や図書館に関する寄稿、イベント情報を掲載した情報誌『図書館通信』を季刊で発行します。	中央図書館 季刊	第49号（7月）　7,000部 第50号（10月）　7,000部 第51号（1月）　7,000部 第52号（4月）　7,000部	継続実施

17	『図書館だより』発行事業	地域特性を活かしながら、各館での情報発信ツールとして『図書館だより』を発行します。	地域図書館 毎月	・発行物等[記載がなければ月1回発行] 【駒込】 サクラタイムズ（桜や地域情報の小冊子）[年3回発行] 桜花（ショーケース展示説明資料）[年4回発行] 月刊コマちゃん（一般向け図書館案内誌） こまと新聞（児童向け図書館案内誌） 【巣鴨】 がもがもしんぶん(児童向け図書館案内誌) 【上池袋】 月刊カミィ（一般・児童向け図書館案内誌） 【池袋】 ふくろう通信（一般向け図書館案内誌） ふくろうだより（児童向け図書館案内誌） 【目白】 月刊めじろ（児童向け図書案内） 月刊We（一般向け図書館情報） 【千早】 ほんとこしんぶん（児童向け図書館案内）	継続実施
18	としま情報スクエアの活用 ＊としま情報ネットワーク 区広報番組（生放送・再放送）	としま情報スクエアを活用し、図書館情報を発信します。	中央図書館 随時	・情報スクエアの発信内容等 【中央】 文学講座、【お知らせ】泡坂妻夫展 特別講演会、石ノ森章太郎展 読書ノート 夏の図書館イベント 【お知らせ】地域研究ゼミナール 東アジア文化都市・日本の伝統芸能展示 平成最後の書評講座展示＆東京アニメアワードフェスティバル展示 調べる学習コンクール マイナンバーカード・冬の図書館イベント R＆Cフェスタ 調べる学習コンクール表彰式 【駒込】さくらプロジェクト 【池袋・目白】地域図書館の特色	継続実施
19	ホームページの充実	児童向け、大人向け、外国人向けなど、利用者ニーズに合わせたホームページを構成・制作し充実を図ります。	中央図書館 指定管理館 随時	・図書館ホームページアクセス数 パソコン　15,203,583件 スマートフォン　317,293件 携帯電話　35,661件	図書館HPの多言語対応

20	特別展示・特集展示事業	地域の文学・歴史・文化に関する貴重な資料や季節の行事、区の施設や講演会、「あうるすぽっと」に関する図書等を展示します。	中央図書館 特集展示 毎月 特別展示 2～3か月	・展示等 【中央】 5階特別展示コーナー 「泡坂妻夫展」「鈴木信太郎展」 「石ノ森章太郎展」「池袋のヤミ市展」 「東アジア文化都市・日本の伝統芸能展」 「東京アニメアワードフェスティバル展」 4階　特集展示毎月（六角柱、一般特集） 4階　一般特集コーナーであうるすぽっと展示を通年で実施 庁舎7階情報発信 【目白】 「赤い鳥」資料室 「赤い鳥と豊島区の童話」特別展示	継続実施
21	「あうるすぽっと」との連携	「あうるすぽっと」で実施する事業に関連した図書の展示を行い、相互の来館を促します。	中央図書館 随時	・展示等 【中央】 4階　一般特集コーナー展示を通年で実施（20の再掲）	継続実施
22	有償刊行物の頒布	『豊島区郷土かるた』、『豊島の民話』、『ぶらり雑司が谷文学散歩』、『ぶらり中山道巣鴨－歴史・文学散歩』の頒布をします。	全図書館 随時	・頒布実績 「豊島区郷土かるた」7箱 「豊島の民話」11冊 「ぶらり雑司が谷文学散歩」77冊 「ぶらり中山道巣鴨－歴史・文学散歩」46冊 「ぶらり長崎―歴史・文学散歩」227冊 ・頒布拡大方策の検討	継続実施
23	映画化図書とのタイアップ事業	映画会や映画化された図書の紹介を実施するなど、図書の新たな魅力を発信し、新たな利用者拡大を図ります。	全図書館 随時	・上映内容等 【巣鴨】 巣鴨キネマ 「自転車泥棒」 「裸の大将　放浪記」 【上池袋】 鉄道映画会「地下鉄に乗って」 【千早】 一般特集展示「映画化された本」	継続実施

【地域の課題に対応したサービス事業】

番号	事業名	事業内容	実施計画	実施状況(30年度)	31年度以降の実施予定
24	ビジネスなんでも相談事業	中小企業診断士会による無料のビジネス相談をビジネス支援コーナーで実施します。	中央図書館 週2回程度	・木曜日　実施　28件 ・土曜日　実施　35件	継続実施
25	ビジネス支援サービス	創業・起業・多角化・事業継承・経営等ビジネスに関する情報やブックリストを提供します。	中央図書館 随時	・情報パンフレットを配布	継続実施
26	健康支援サービス	保健所と連携し、健康に関する情報やブックリストを提供します。	中央図書館 随時	展示等 【中央】 六角柱展示 がん検診 地域猫活動 世界禁煙デー 禁煙週間 乳幼児の事故防止成人ぜん息 こころの健康 女性のがん検診・骨粗鬆症 糖尿病重症化予防 世界禁煙デー 食中毒と時感染症 アレルギー こころの健康・睡眠の日 リスト27種（11の再掲）	継続実施
27	子育て支援サービス ＊保育コンシェルジュ 保育全般についてのアドバイザー	保健所や保育コンシェルジュと連携し、子育て支援に関する情報やブックリストを提供します。	中央図書館 随時	・保健所共催事業(パパママ準備教室) 池袋保健所(毎月1回) 長崎保健所(毎月1回) ・わくわくおはなし会 月第3土曜日　西武百貨店屋上 ・パパ・ママお役立ち情報ブックリストの発行 ・親子ふれあいまつり 子育てネットワーク（長崎・目白地区） ・読書ノート～パパ・ママの読みきかせノート発行	継続実施
28	政策立案・調査研究の支援	区議会議員及び他の部局からの政策課題等についての図書資料請求に対して、図書館司書によるレファレンス対応により適切な図書資料の貸出を行います。	中央図書館 随時	未実施	連携について検討
29	デジタルサイネージの設置 ＊デジタルサイネージ デジタル表示パネルを利用した電子看板	各図書館にデジタルサイネージを設置し、地域情報、防災情報等を発信します。	指定管理館 随時	・デジタルサイネージの内容等 【駒込】 ソメイヨシノライブラリーの本の紹介、地域のイベント情報、駒込地域の古い写真の紹介等を行う。 【池袋】 館内・サービス案内、イベント案内、地域刊行物案内 【目白】 館内・サービス案内、イベント案内、デジタル原画展	継続実施

【利用者に対応したサービス事業】

番号	事業名	事業内容	実施計画	実施状況(30年度)	31年度以降の実施予定
30	ひかり文庫 ボランティア養成事業 ＊ひかり文庫 中央図書館内にある点字図書館	点訳、音訳のボランティア養成講習会を開催し、ボランティア人材を養成します。	ひかり文庫 点訳・音訳を隔年実施	【ひかり文庫】 ・点訳ボランティア養成講習会 初級養成講習会（全10回） 受講者10名 中級養成講習会（全10回） 受講者10名 ・拡大写本ボランティア養成講習会 養成講習会（全5回） 受講者9名	継続実施
31	外国語本の貸出事業	国際アート・カルチャー都市及び2020年東京オリンピック・パラリンピックに合わせ、多くの外国人の来館者を迎えるにあたって、外国語本の充実を図ります。	全図書館 随時	・外国書図書蔵書数（H31年3月31日現在） 一般図書 3,318冊 児童図書 4,418冊	31年度以降に、外国本の充実に向け、選書会議で方針を検討
32	外国語サービスの実施	感情認識ロボット「ペッパー」により外国語対応を実施します。	指定管理館	【池袋】【目白】ペッパーで英語、中国語での案内実施	継続実施
33	閲覧席管理事業	多くの利用者が閲覧席を活用できるように時間制の閲覧席管理システムを導入します。	中央図書館 駒込図書館	【中央】 席管理システム（89席、内車椅子対応席1席） 【駒込】 席管理システム（10席）	継続実施
34	開館時間の拡大	多くの利用者が活用できるように、図書館の開館時間を延長します。	指定管理館	【指定管理館】平日9時から20時	・検討課題 休日閉館時間（18⇒20時）検討
35	開館日の拡大	特別整理を効率的に実施し、特別整理期間を短縮します。	指定管理館	【全館】 毎週の休館日を月1への縮小、特別整理期間の縮小による開館日の拡大	・検討課題 年末年始の縮小検討
36	WI-FI整備事業 ＊WI-FI ネットワーク接続に対応した機器を、無線でLANに接続する技術	豊島区で取り組む豊島区フリーWI-FIの設置に合わせて整備します。	全図書館 設置	【指定管理館】 登録者数 1,258人 【中央】（無料WI-FIサービス） 館内・共用部：ソフトバンク	継続実施
37	パソコン持込み席の充実	豊島区フリーWI-FIの整備に合わせ、パソコン持込み席の充実を図ります。	全図書館 増設	未実施	・検討課題 【上池袋】増設を検討 【目白】持込み席設置を検討
38	カフェ事業	くつろげる場、憩いの場として、空きスペース等を活用したカフェスペースを設置し、読書環境を整備します。	指定管理館	【池袋】 事業開催時に実施（3回）	・検討課題 【指定管理館】運用検討中

【多様な学習機会の提供事業】

番号	事業名	事業内容	実施計画	実施状況(30年度)	31年度以降の実施予定
39	読書週間行事、古典の日行事	読書活動啓発・推進にかかる全国的な活動である「読書週間」、「文字・活字文化の日(10/27)」、「古典の日(11/1)」などに呼応した行事を実施します。	全図書館	児童向け事業でおはなし会を実施	継続実施
40	他施設事業の図書館活用事業	他の施設で実施している事業を図書館の会議室や併設区民集会室を活用して実施することで、これまで図書館に来なかった方の利用拡大を図ります。	地域図書館 随時	【駒込】 地域文化創造館主催「駒込文化祭」参加 「図書館の使い方」について 【上池袋】 U－15「模擬選挙」 7名 【池袋】 終活講座	【上池袋・池袋】行政書士会との連携
41	覆面図書事業	新たな分野の図書に興味を持っていただくことを目的に、題名を隠した覆面図書の貸出を行います。	全図書館 年1～2回	【中央】【駒込】 年2回実施 【巣鴨】【上池袋】【池袋】【目白】【千早】 年1回実施	継続実施
42	バリアフリー映画会の開催	視覚や聴覚に障害のある方でも家族と一緒に楽しめる「音声ガイド」や「日本語字幕」を付けた映画会を上映します。	指定管理館 年1回	【上池袋】 「僕らのごはんは明日で待っている」 16名 「グーグーだって猫である」 12名 【池袋】 「博士の愛した数式」 10名 【目白】 「武士の家計簿」28名	継続実施
43	地域研究ゼミナール事業	区に関係の深いテーマについて、図書館資料を活用して学びながら、自分のテーマを探す連続講座を開講し、同じ興味・関心を持つ人たちの交流の場としての役割を広めます。	中央図書館 随時	・講座 【中央】 「池袋のヤミ市～マーケットから駅ビルへ～」(全2回) 講師：石榑督和、司会：吉田いち子　延72名	継続実施
44	自主研究グループの支援	地域研究ゼミナール受講者による自主研究グループの活動の場として、図書館施設(研修室等)を提供します。	中央図書館 随時	【中央】 幕末研究グループ 9回 池袋モンパルナス　11回 江戸・東京研究会　21回 【巣鴨】 巣鴨こども朗読の会 18回 【千早】 朗読の会「たのきゅう」18回 千早子どもの本朗読会 10回 はなしのぶの会(千早)16回	継続実施

45	講演会事業	文化・芸術・歴史などのテーマで、その分野の第一人者による講演会を開催します。	中央図書館 随時	・講演会等 【中央】 「童謡の100年―北原白秋と『赤い鳥』」 151名 【千早】 千早進歩自由夢 「豊島むかしむかし 」 15名 「バイオリン演奏会」31名 「再発見！『ぶらり長崎』を読み説く」16名 「朗読会　それぞれの絆」 23名 「落語会」 43名	継続実施
46	豊島区ゆかりの作家・漫画家による講演会事業	豊島区に関連の深い作家・漫画家による講演会を実施し、現在の作家を紹介すると共に利用者拡大を図ります。	中央図書館 随時	実施なし	継続実施
47	文学講座事業	区民の読書活動の参考となる文学や読書に関する講座を開催します。	中央図書館 随時	【中央】 古典講座（全8回） 延267名 「源氏物語と仏教」 文学講座（全8回） 延161名 「読んで観る！映像・舞台原作の世界」 書評講座（全11回） 延82名 「ポップで表現！私に響いた作品」、 「平成最後の書評講座」	継続実施
48	大人の調べる学習講座	大人向けに、図書館資料検索機の利用方法や知りたい情報の探し方を教える勉強会を開催します。	全図書館 年1回	・講座等 【駒込】 調べる学習講座　 16名 【上池袋】 大人の調べる学習講座　5名 【池袋】 大人の調べる学習講座　6名 【目白】 大人の調べる学習講座　5名	継続実施
49	三世代講座	孫や子と一緒に図書館に出かけて読書を楽しめるように、絵本等の読み聞かせ講座や、孫や子と一緒になって、読む本の検索方法を学ぶ講座を開催します。	全図書館 年1回	・講座等 【中央】 子ども読書に関する講習会 「体と心を育てる〝わらべうた〟で楽しもう！」74名 「絵本のお話とじゃばら絵本ワークショップ」54名 図書館ホームページ検索講座 11名（48の再掲） ・おはなしを贈ろう（あげよう） 【駒込】8名 【上池袋】9名 【池袋】3名 【目白】9名	継続実施

50	イクメン講座	大人向けの読み聞かせの勉強会を土・日・祝日に合わせて開催します。	指定管理館 年1回	・講座等 【上池袋】 イクメンパパ向け読み聞かせ講座　14名 【池袋】 イクメン読み聞かせ講座～ねえ、絵本読んで～　8名 【目白】 イクメンパパ読み聞かせ講座　10名	継続実施
51	バックヤードツアー事業	図書館業務に興味を持っていただくために事業を実施します。	全図書館 随時	【中央】 ナイトガイドツアー 親子向け　26名 大人向け　17名 【巣鴨】 大人の職場体験　8名 【千早】 大人の職場体験　8名	継続実施
52	ワークショップ事業 ＊ワークショップ 参加体験型、双方向性のグループ学習	「本棚づくり」「本の補修」等のワークショップを通じて、図書に興味持っていただくための事業を実施します。	中央図書館年1～2回	・講座等 【駒込】 おとなの工作会～押し花コラージュ～　10名 【巣鴨】 「ポップアップカードを作ろう」　26名 【上池袋】 本のお医者さんになろう　6名 【池袋】 読み聞かせ講座（全6回）　延94名 ふくろう俳句会（全3回）　計30名 ふくろうハンドメイド倶楽部　15名 【目白】 俳句入門講座（全3回）　延44名 絵本づくり講座（全3回）　延76名 【千早】 朗読ワークショップ（全8回）　延89名	継続実施
53	点訳・音訳・拡大写本 ボランティアの育成事業	点訳講習会、音訳講習会、拡大写本製作講習会等を開催し、ボランティア団体の人材を育成・支援します。	ひかり文庫毎月	【ひかり文庫】 点訳研究会・講習会　全43回　延1,547名 音訳講習会　全20回　延531名 拡大写本製作会　全26回　延199名	継続実施
54	読み聞かせボランティアの養成・育成事業	区内子ども施設へ派遣するボランティアの養成講座、フォローアップ研修を開催し、読み聞かせボランティアを育成・支援します。	中央図書館 養成・育成隔年実施	・講座等 【中央】 読み聞かせボランティア養成講座 13名養成 「わらべうた」落合美和子 「小学校低学年への読み聞かせ」児玉ひろ美 「3～6才児への読み聞かせ」児玉ひろ美 「こどもと本の周辺」児玉ひろ美 「パネルシアター」尾松純子 【巣鴨】【千早】 ボランティア人材バンク活動支援	継続実施

【職員等の研修の充実事業】

番号	事業名	事業内容	実施計画	実施状況(30年度)	31年度以降の実施予定
55	サービス職員研修の実施	サービス業務に携わる職員に対し、専門的知識・技能の向上を目的に研修を行います。	中央図書館 年4回	【全館対象、中央図書館主催】 新任研修 新任研修（児童サービス） 文学講座 特別講演会 書評講座 データベース 子どもの読書に関する講習会 読み聞かせボランティア養成講座 わらべうた 認知症理解 特別な支援を要する児童・生徒 東アジア文化都市 図書館ホームページ 【駒込】 ADEAC　使い方研修 （さくらデジタルコレクション） 責任者研修 図書館を使った調べ学習とは 本の修理 選書研修 補修研修 【巣鴨】 ブックトーク研修会 【上池袋】 新人研修(接遇・著作権・MARC・装備) 認知症サポーター研修 デジタルサービス研修(電子図書館) 【池袋】 新人研修(接遇・著作権・MARC・装備) ステップアップ研修（レファレンス・MARC） 責任者研修（労務管理・ハラスメント防止） 責任者研修（メンタルヘルス中級） 選書研修 レファレンス研修 著作権研修 障害者サービス研修 【目白】 「赤い鳥」と豊島区の童話 新任責任者研修 館内広報研修 商用DBとレファレンス研修 文章技術研修 選書研修 特別支援の読み聞かせ メンタルヘルス研修 障害者サービス研修 郷土資料の収集と保存	継続実施
56	職員研修派遣の実施	文化庁、国立国会図書館、都立図書館など、関連団体で実施する研修に職員を派遣し、専門知識・技能の向上を図ります。	全図書館 随時	実施なし	継続実施

57	危機管理研修の実施	個人情報保護関連研修や救急救命研修等に職員を派遣します。	全図書館 随時	・個人情報保護研修（駒込、上池袋、池袋、目白） ・普通救急救命研修（全館）	継続実施

（3）施設管理運営事業

番号	事業名	事業内容	実施計画	実施状況(30年度)	31年度以降の実施予定
58	設備等の更新	利用者サービスの充実のため、バリアフリー対応、省エネ対応等、時代の変化に対応した設備等への改修を実施します。	全図書館 随時	【中央】 木製閲覧机天板補修 閲覧席下部間仕切りパネル取付 廊下照明LED化 防犯カメラモニター交換 【巣鴨】 エレベーター緊急修繕 水洗トイレ修繕 【上池袋】 空調機器修繕 【池袋】 通用口ドア修繕 男性手洗い配管水漏れ修繕 空調設備修繕 【目白】 フェンス塗装修繕 【千早】 電話設備修繕 雨水配管修繕	継続実施
59	豊島区図書館経営協議会	地域の実情を踏まえ、利用者及び区民の要望を十分に反映した図書館運営を行うために、学識経験者に加え、区民が参画できる図書館経営協議会を開催します。	中央図書館 年3回開催	【中央】 第1回：図書館基本計画実績報告 子ども読書活動進捗報告 第2回：満足度調査及び立入調査報告 第3回：新年度実施事業提案・報告 図書受渡し事業者選定結果報告	継続実施
60	『豊島の図書館』発行事業	図書館事業計画策定に向け、豊島区立図書館のデータブックとして、毎年度作成します。	中央図書館 年1回	【中央】 「豊島の図書館」発行 平成29年度事業報告および図書館基本計画進捗状況掲載	継続実施
61	危機管理体制の構築	危機管理マニュアルを策定し、日常トラブル対応から災害時での職員体制を明確にします。定期的防犯・防災訓練等を実施します。	全図書館 随時	【全館】 防災訓練実施	継続実施
62	設備点検の実施	法令に基づく設備点検を実施し、不具合等については、早急に対応します。	全図書館 随時	・点検実施状況 【全館】 消防設備・防火設備・建築設備点検 【中央・駒込】 防火対象物点検 【中央】 防災管理点検 【中央・駒込・巣鴨・上池袋・池袋・目白】 昇降機点検 ・対応状況 【池袋】 消防設備修繕	継続実施

豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）

平成３０年度 各課進捗状況

令和元（2019）年　９月

豊　島　区

目　次

第１部　計画の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

１．計画の目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２．計画の位置づけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
３．計画の体系 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
４．計画の重点分野 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
５．計画の進捗管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第２部　計画の実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

１．数値目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
子どもの図書貸出冊数の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
２．計画事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（１）調査の実施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（２）計画事業の所管課評価別の状況 ・・・・・・・・・・・・・ 3
（３）計画事業の実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（４）計画策定後、平成 30 年度から新たに実施する事業 ・・・ 3

別表１　所管課評価別の事業数 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
別表２　計画事業の実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
別表３　新規事業の計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

第１部　計画の概要

１．計画の目的

豊島区は、平成１８年３月に「子ども読書活動推進計画」を策定して施策を総合的に推進してきました。４年後の平成２２年３月には、子どもの読書環境を取り巻く社会環境の変化に応じて計画を修正し、第二次計画として策定しました。

「豊島区子ども読書活動推進計画」（第三次）は、「一人ひとりの子どもが素晴らしい本と出合うことで、読書の魅力を発見する機会を提供し、生涯にわたる読書習慣を身に付けられるよう、発達段階に応じた読書機会の提供と読書環境の整備を図る」という第一次及び第二次推進計画で掲げた理念、目的を引継ぎ、子ども読書活動推進のための施策の方向性や取組みを示しています。

２．計画の位置づけ

この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく市町村の計画であり、豊島区基本計画を補完する子ども読書活動分野の総合計画に位置づけられます。また、豊島区教育ビジョン 2015－豊島区教育振興基本計画―、豊島区子どもプラン（豊島区子ども・子育て支援事業計画）をはじめ関連する計画との整合性を図っています。

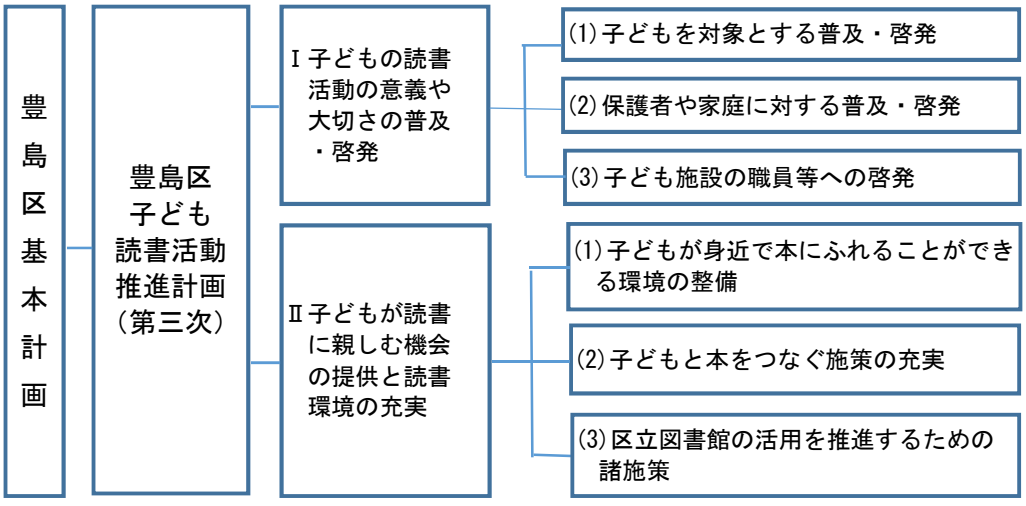
３．計画の体系

豊島区の子どもたちの読書活動や読書環境の現状を踏まえ、次の二つの目標を掲げ、諸施策を体系的に整理しています。また、施策の体系に沿って、新規 12 事業を含め 87 の計画事業を掲げています。

（１） 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

（２） 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実

【施策の体系】



４．計画の重点分野

本計画の施策の重点分野は、「読書活動に関する実態調査」の結果や国と東京都の動向を踏まえ、家庭における読書環境充実にかかる支援施策と小・中学生や高校生の読書活動推進にかかる諸施策に焦点をあてています。

５．計画の進捗管理

本計画の進捗管理については、子どもの読書活動の関係機関で構成される「子どもの読書活動推進会議」を中心に行い、各年度において実施状況を把握・点検しつつ、その後の施策の推進を図っていきます。

第２部　計画の実施状況

１．数値目標

【子どもの図書貸出冊数の状況】

○区立図書館の子どもの図書貸出冊数

	平成 26 年度 [基準値]	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 32 年度 [目標値]
児童書	263,513 冊	345,748 冊	359,019 冊	277,000 冊
YA 書	68,846 冊	68,695 冊	68,117 冊	73,000 冊
合計	332,359 冊	414,443 冊	427,136 冊	350,000 冊

○学校図書館の図書貸出冊数

	平成 26 年度 [基準値]	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 32 年度 [目標値]
小学校	212,810 冊	279,775 冊	291,442 冊	224,000 冊
中学校	9,824 冊	20,148 冊	19,020 冊	11,000 冊
合計	222,634 冊	299,923 冊	310,462 冊	235,000 冊

２．計画事業

（１） 調査の実施

平成 30 年度の実施状況を取りまとめるにあたり、子どもの読書活動推進事業を実施している庁内関係部局に対し、令和元年 6 月に調査を実施しました。

平成 30 年度の実施状況及び所管課評価、あわせて令和元年度以降の実施予定について調査しています。

・所管課の評価については、次の 5 区分に分類しました。

「Ａ：想定以上」、「Ｂ：想定どおり」、「Ｃ：工夫や改善必要」、「Ｄ：未実施」、「Ｅ：事業終了」

（２） 計画事業の所管課評価別の状況

計画事業の所管課評価別の状況を別表１（4 ページ）にまとめました。

平成 30 年度から新たに実施した事業が 3 事業ありました。

92 事業のうち、
- ◇Ａ：想定以上　20 事業
- ◇Ｂ：想定どおり　60 事業
- ◇Ｃ：工夫や改善必要　9 事業
- ◇Ｄ：未実施　1 事業
- ◇Ｅ：事業終了　2 事業　となっています。

（３） 計画事業の実施状況

計画事業を体系別に整理し、平成 30 年度の実施状況及び令和元年度以降の実施予定を別表２（5～25 ページ）にまとめました。

（４） 計画策定後、令和元年度から新たに実施する事業

子どもの読書活動推進計画（第三次）は、平成 28 年 5 月に策定されましたが、その後取り組みの充実を図るために新たに実施する事業があります。

令和元年度から新たに実施する事業として「南池袋公園ブックシェルフ用図書の展示」の事業計画を別表３（26 ページ）に掲載しました。

【 所管課評価別の事業数 】

別表 1

1　体系別

計画の体系	事業数（重点）	所管課の評価				
		A 想定以上	B 想定どおり	C 工夫や改善必要	D 未実施	E 事業終了
Ⅰ子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発	21項目　(7項目)	3	13	5	0	0
(1) 子どもを対象とする普及・啓発事業	4項目　(0項目)	2	1	1	0	0
(2) 保護者や家庭に対する普及・啓発	11項目　(7項目)	1	7	3	0	0
(3) 子ども施設の職員等への啓発	6項目　(0項目)	0	5	1	0	0
Ⅱ子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実	71項目　(23項目)	17	47	4	1	2
(1) 子どもが身近で本にふれることができる環境の整備	23項目　(7項目)	5	17	1	0	0
(2) 子どもと本をつなぐ施策の充実	40項目　(16項目)	8	26	3	1	2
(3) 区立図書館の活用を推進するための諸施策	8項目　(0項目)	4	4	0	0	0
総　　計	92項目　(30項目)	20	60	9	1	2

2　所管課別

所管課	事業数（重点）	所管課の評価				
		A 想定以上	B 想定どおり	C 工夫や改善必要	D 未実施	E 事業終了
地域区民ひろば課　※	6項目　(1項目)		5	1		
文化デザイン課	4項目		3	1		
学習・スポーツ課	1項目　(1項目)			1		
図書館課　※	49項目　(13項目)	15	26	5	1	2
池袋保健所（健康推進課）・長崎健康相談所	2項目　(1項目)		2			
子ども若者課	2項目		2			
子育て支援課	4項目　(2項目)		4			
保育課	6項目　(2項目)	1	5			
学務課（区立幼稚園含む）	2項目　(1項目)	2				
放課後対策課　※	5項目　(1項目)	1	3	1		
指導課（区立幼稚園・小学校・中学校含む）	14項目　(9項目)	2	12			
計	95項目　(31項目)	21	62	9	1	2

※ 3事業については3課が所管している。

【 計画事業の実施状況 】

別表2

Ⅰ.子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

(1)子どもを対象とする普及・啓発事業

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
1			子ども向け図書利用案内の作成・配布	豊島区立図書館利用案内を〈小学校・幼稚園版〉と〈中学校版〉(新規)を作成し、幼稚園、小中学校へ配布し、区立図書館の利用を促進する。	小・中学生幼稚園	毎年度、区立小学校新1年生に配布	毎年度関係施設へ配布	図書館利用案内配布施設数。 ・幼稚園　2 ・保育園　81 ・子ども家庭支援センター　2 ・区民ひろば　26 ・区立小学校　22 ・池袋保健所 ・長崎健康相談所	B:想定どおり	例年どおり新小学1年生へ区立図書館の利用案内を配布した。	継続実施	図書館課
2			子ども向け各種行事の実施	子ども読書の日(4月23日)や文字・活字文化の日(10月27日)などの記念の日にちなむ行事を実施し、8月中旬には平和普及事業として関連図書の企画展示などをして、記念の日の意義や図書を周知・啓発する。	小学生	・子ども読書の日 ・文字・活字文化の日 ・平和普及事業	毎年度実施	各種行事参加児童数 ・子ども読書の日87 ・文字・活字文化の日60 ・冬のスペシャルおはなし会199	C:工夫や改善必要	スペシャル事業への参加者数の増を図るため、周知方法等の多様化などの見直しが必要である。	継続実施	図書館課
3			区立小・中学校RCフェスタの開催	区立小・中学校、区立図書館と連携して「RC(Reading and Comunication)フェスタ」を開催し、教育委員会推薦図書の普及・啓発、本との出会いや読書の楽しさを伝え、読書習慣の形成を図る。	小・中学生	実施回数	年1回	平成30年12月15日(土)としまセンタースクエアにおいて、読書感想文コンクールの表彰・発表会、読書活動と関連した英語活動の発表会を実施した。	A:想定以上	想定以上の学校が参加し実施することが出来たため。	継続実施	指導課
4			点字図書館サービスのPR	点字図書館サービス(点訳・音訳・対面朗読サービス等)を紹介するパンフレットやCDを作成・配布し、特別な支援を必要とする子どもの利用を促進する。	特別な支援を必要とする生徒・児童	・パンフレットの作成 ・CD版パンフレットの作成	必要に応じてパンフレット・CD等を改訂	施設見学等の際にパンフレットを配付するとともに、広報としま1月21日号に「ひかり文庫(点字図書館)をご存知ですか？」を掲載した。	A:想定以上	広報に掲載することにより、より多くの方に周知することができた。	継続実施	図書館課

（2）保護者や家庭に対する普及・啓発

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
5	重		乳幼児健診時の絵本の読み聞かせとブックリストの配布	乳幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせを行い、図書館利用のPRとブックリストを配付して家庭での読書を推進する。	乳幼児・保護者	・パパ・ママ準備教室 ・1歳6か月児健診	毎年度実施	池袋保健所（パパ・ママ準備教室）と長崎健康相談所（1歳6か月児健診）で、各12回絵本の読み聞かせとブックリスト配付を行った。	B：想定どおり	予定どおり各会場で12回実施した。	池袋保健所移転に伴い、仮施設での事業継続は池袋保健所が検討中。長崎健康相談所の事業は継続実施。	図書館課
6			ブックリストの作成・配布	乳幼児及び児童向けのブックリストを作成し、保育園、幼稚園、区立小学校等に配布するとともに、図書館で開催する行事などの機会に子どもや保護者に配布して読書活動を啓発する。	小・中学生保護者	配付先施設数（保育園、幼稚園、区民ひろば、保健所）・区立小中学校（全校生徒）	改定時に配付	乳幼児向けブックリスト配布施設数。 ・幼稚園　2 ・保育園　81 ・子ども家庭支援センター　2 ・区民ひろば　26 ・池袋保健所 ・長崎健康相談所	B：想定どおり	西武百貨店のでのおはなし会でも、ブックリストを配布した。	継続実施	図書館課
7	重	28新	子育てインフォメーション活用による図書館利用の促進＜新規＞	子育て中の保護者への情報発信として、子育てインフォメーションと連携して、図書館で主催する行事のパンフレットやブックリストを配布し、読書活動や図書館利用を促進する。	保護者	各種行事の情報提供	毎月行事チラシを配布	・おはなし会カレンダー　毎月 ・スペシャルおはなし会　5回	B：想定どおり	子育てインフォメーションへのチラシ提供による図書館行事の周知を行い、図書館利用の促進を図った。	継続実施	図書館課
8			子ども向け図書館ホームページ充実による家庭における読書活動の啓発	保護者に読み聞かせのすすめや絵本の選び方、絵本やブックリストの紹介、おはなし会等の案内を掲載し、家庭における読書活動を啓発する。	高校生・小・中学生・保護者	特集棚の紹介	毎月 （YAは隔月）	・特集展示　毎月 ・全館児童共通行事　7回 ・YAおすすめ本紹介　毎月 ・各館児童行事の周知	B：想定どおり	各館主催の各種児童行事を図書館HPで周知を行った。	来年度は図書館HPのシステム更新があり、さらに利用者への周知方法の改善を図る。	図書館課
9	重		大人のための子どもの読書を考える講座の開催	家庭教育学級の中で、保護者向けに子どもの読書活動を考えるきっかけとなるような各種講座を開催する。	保護者・家庭	参加人数	第二次までの取組みを継続	家庭教育学級としては8講座実施した。	C：工夫や改善必要	子どもの読書活動の視点が欠けていたため。	講座会場のみらい館大明ブックカフェと連動して行う。	学習・スポーツ課
10	重		子どもスキップ保護者会等での子ども読書に関する啓発	保護者会等で、良質な長く読み継がれている本を紹介し、読書の意義や大切さを啓発する。	保護者	実施施設数	全てのスキップで実施	所長や校長が推薦する本を紹介するコーナーを設置した。 (3施設)	C：工夫や改善必要	全施設で実施するよう働きかける必要がある。	継続実施	放課後対策課

11	重		保育園を通じた保護者への子どもの読書に関する啓発	保護者会や園だより等で、子どもが喜んで手にしている絵本や保育園で長く読み継がれている本などを紹介する。	保護者	絵本の紹介	全園で実施	・全園で実施した。 ・保護者会やクラスだよりなどで、子どもたちの好きな絵本・興味を持っている本などを紹介した。	B:想定どおり	各保育園で工夫を凝らし、保護者に絵本を紹介することで、保護者への啓発に取り組んでいるため。	継続実施	保育課
12	重		保護者会等を通じた児童の読書活動に関する啓発	保護者会や学校だよりを通じて、子どもの読書活動の意義や大切さ、図書の情報等を提供する。	小学生保護者	図書だよりの発行	学期ごとに1回発行	図書館だより、学校だより、学年便り等のツールを使って、保護者に読書活動の推進をよびかけた。	B:想定どおり	定期的に情報を発信することが出来ているため。	継続実施	小学校指導課
13	重	28新	鬼子母神Plusにおける図書コーナー設置による啓発＜新規＞	池袋保健所1階に設置した若者向け健康情報スペースに、地域の書店等との連携で本屋さんの推薦図書や育児雑誌コーナーを設置し、乳幼児と保護者向けに絵本や本を展示、紹介する。	区民	月替りで書籍紹介	毎年度12回	年12回展示のうち子育てや子ども向け絵本展示5回 ・子育てに関する本 ・動物園の絵本 ・芸術に関する絵本 ・クリスマスにプレゼントしたい本 ・入学に関する本	B:想定どおり	推薦図書を見た保護者が家庭で読むため書店に購入に行くなど啓発の効果がみられるため。	継続実施	健康推進課
		29新	公民連携を活用したおはなし会の実施	西武百貨店屋上及び子どもフロアーや南池袋公園内カフェ(ラシーヌ)等の民間企業との連携によるおはなし会を実施することで、図書館の利用促進及び読書活動の大切さを普及・啓発する。	保護者・乳幼児	・公民連携おはなし会実施回数 ・公民連携おはなし会参加者数	毎年度 11回実施 参加者数340人	西武百貨店との連携おはなし会を、10回実施し、434人参加した。	A:想定以上	連携事業者数は西武百貨店1社に減少したが、参加者数が目標値を上回った。	西武百貨店との連携事業は継続実施。	図書館課
		30新	読書ノート～パパ・ママの読み聞かせノート～配付による読書活動の普及・啓発	乳幼児のおはなし会や未就学児対象のイベントに参加する保護者に読書ノートを配付し、家庭における読書活動を促進する。	乳幼児	読書ノート配付数	毎年度 配付数1,000冊	未就学児対象の図書館行事で、イベント参加の保護者に読書ノート～パパ・ママの読み聞かせノート～を789冊配布した。	C:工夫や改善必要	未就学児対象行事での配付を徹底し、読書ノート活用による子どもへの読書活動を啓発を強化する。	継続実施	図書館課

(3)子ども施設の職員等への啓発

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画(28～32年度)	実施状況(30年度)	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
14			区立図書館の講習会を活用した職員のスキルアップ	図書館主催の子どもの読書に関する講習会を活用し、ひろば職員の読み聞かせ技術のスキルアップを図る。	ひろば職員	図書館講習会受講	22施設	図書館主催の講習会を7月・2月に実施。7施設8名の子育て担当職員が参加し日常業務に生かした。	B:想定どおり	勤務体制の難しさもあるが、想定どおりであるため。	受講していない職員は積極的に受講するよう呼びかけスキルアップを図る。	地域区民ひろば課

15		28新	**読書に関する講習会の開催＜新規＞**	電子書籍等の読書に関する新しい媒体について、適切な活用方法を学ぶ講習会を開催する。	区民ひろば課職員	講習会の開催	・28年度職員研修「講習会」開催 ・29年度以降区民向け講習会を各区民ひろばで開催	前年度からの経緯を踏まえて、区民ひろばにおいては、読み聞かせの充実、親子の触れ合い、よりよい絵本の提供などの事業の充実を図っている。	C：工夫や改善必要	29年度に所長会における講習会で電子書籍等の読書に関する現状や基礎知識を共有したうえで、区民向け講習会の開催については引き続き検討が必要であるため。	電子書籍等の読書に関する情報収集を図っていく。	**地域区民ひろば課**
16			**児童・YAサービスの充実に向けた職員研修の実施**	児童・YAサービスの向上のため、図書館課が主催する研修や専門研修等により職員のスキル、資質の向上に取り組む。	図書館職員	・子どもの読書に関する講習会（回数・受講者数） ・児童図書館専門研修（受講者数）	2回	子どもの読書に関する講習会（2回開催）を30名が受講，し、東京都児童図書館専門研修を4名が受講した。	B：想定どおり	予定していた研修を受講した。	継続実施	**図書館課**
17			**子どもの読書に関する講習会の開催**	年2回、子ども読書ボランティア、子ども施策関係部署職員、図書館職員等を対象に講習会を開催し、子どもの読書支援に関するスキルアップや資質の向上を図る。	関係部署区民職員	講習会	2回	講習会を2回実施した。 7月11日「わらべうた」 74名 2月7日「じゃばら絵本のワークショップ」 54名	B：想定どおり	予定どおり2回開催し、定員に達した。	2回開催	**図書館課**
18			**職員への読書に関する研修の実施**	子ども職場の職員を対象とする「子ども福祉研修」で、子どもと本や読書に関わる研修を実施して、子どもの読書支援のスキル向上を図る。	職員	開催回数	年1回開催	職員を対象とした子ども福祉研修にて「絵本を使ったふれあい遊び」を実施。、区民対象の子ども講座にて「絵本の世界」を実施。	B：想定どおり	保育園、スキップ、区民ひろば等、それぞれの職員が施設の利用対象児に合った絵本の活用方法や、子どもの成長と絵本の関係などを学ぶことができていたため。	継続実施	**子ども若者課**
19			**職員のスキルアップと資質の向上**	「子ども福祉研修」はじめ各種研修や講習会等への職員参加により、本と子ども達を結びつけるためのスキルアップと資質向上を図る。	職員	・研修への参加 ・勉強会実施	全園で実施	・ほぼ全園で実施した。 ・子ども福祉研修などの研修や講習会に参加した職員が、参加しなかった他の職員にも職員会議で報告し、園全体としてスキルアップと資質向上を図った。	B：想定どおり	積極的に研修会や勉強会に参加することはもちろん、参加者が他の職員への共有を行っているため。	継続実施	**保育課**

Ⅱ．子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実

（1）子どもが身近で本にふれることができる環境の整備

【乳幼児】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
20			地域区民ひろばの本のある環境づくりの推進	計画的な図書購入とリサイクル本の活用などで、子育てひろば等に本のある環境作りを行う。	関係機関	年度当初に図書購入予算措置	22施設	・各ひろばに配当する子育て事業経費を活用し読書スペースの充実をはかった。 ・リサイクル本の活用 22施設中18施設	B:想定どおり	区民ひろば毎の状況に応じ、本のある環境づくりを行なったため。 リサイクル本活用も定着してきている。	子どもの興味のある絵本の購入とゆっくり楽しめる環境の工夫をしていく。	地域区民ひろば課
21			乳幼児向けブックリスト図書コーナーの設置	乳幼児向けブックリストに掲載されている絵本のコーナーを設置して、保護者や乳幼児が本を手に取る機会を増やす。	乳幼児	乳幼児向けブックリストの掲載図書コーナを設置	事業を継続	全館でブックリストの掲載本コーナーを設置し、利用促進を図った。	B:想定どおり	ブックリストによる推薦とリスト掲載図書展示コーナーとの連携により、図書館がおすすめする本を利用しやすい環境を保持している。	継続実施	図書館課
22			リサイクル図書の子ども施設での活用	区立図書館で除籍処理した図書を、希望に応じて子ども施設へリサイクル図書として提供し活用する。	小・中学校・乳幼児	リサイクル図書提供施設数・冊数	区内保育園、幼稚園、区立小・中学校、子ども施設と連携	881冊をリサイクル図書として公共施設へ提供した。	A:想定以上	前年度の約2倍のリサイクル図書を子ども関連施設へ提供し、図書の有効活用を図った。	継続実施	図書館課
23			保健所の絵本コーナーの充実	乳幼児健診会場にブックリスト『ねぇ、よんで』掲載図書の絵本コーナーを設置している。	乳幼児・保護者	健診来所者数	26,500人	常時20冊程度を入れ替えながら設置した。 健診来所者数 16,000人	B:想定どおり	健診の待ち時間に自由に絵本を手に取り読んでいる。	継続実施	長崎健康相談所 健康推進課
24	重		子ども家庭支援センターの絵本コーナーの充実	親子あそび広場、一時保育室、発達支援室に絵本コーナーを設置して、親子が本に親しむ環境を整備する。	乳幼児・保護者	各事業利用者数	378,000人	＜東西子ども家庭支援センター＞ ・一時保育利用人数 年間24、850人 ・親子あそび広場利用人数（子ども） 年間21,642人 ＜西部子ども家庭支援センター＞ ・発達支援事業利用児童数 年間6,048	B:想定どおり	各事業利用者数合計が前年度に比べやや減っているが、絵本の数や内容は充実していきているため。	継続実施	子育て支援課

25	重		保育園の蔵書の家庭への貸出	各園に絵本コーナーを設置して絵本に親しむとともに、園児の保護者や地域の親子に絵本の貸出を行う。	地域の親子保護者・園児	絵本コーナーの設置	全園で実施	・全園で実施した。 ・絵本の貸出コーナーの設置はもちろん、絵本の入れ替えや修理などを通して親子で絵本に親しめるように各園で工夫をした。	B:想定どおり	各保育園で貸出環境を整えることで、家庭でも絵本に親しむ工夫をしているため。	継続実施	保育課
26			保育園の図書等の整備と充実	区立図書館の団体貸出利用やリサイクル図書の活用、近隣の方からの寄贈図書などをを活用して、保育園の読書活動の整備を図る。	全園児	区立図書館のリサイクル図書利用、近隣の方からの寄贈。	全園で実施	・全園で実施した。 ・団体利用やリサイクル本をもらいに行く等図書館の活用や、近隣の方や卒園児保護者からの寄贈により各園で図書の充実を図った。	B:想定どおり	全園で実施している点や園ごとの工夫がみられるため。	継続実施	保育課
27			幼稚園の蔵書の充実	幼児の興味や教育内容に応じて、絵本等を購入し蔵書の充実を図る。	全園児	購入図書	40冊	園平均86冊	A:想定以上	目標の購入数を大幅に超えたため。	引き続き蔵書の充実を図る。	区立幼稚園学務課
28	重		幼稚園の蔵書の家庭への貸出	幼稚園が蔵書している図書を、家庭へ貸出す。	全園児	貸出回数	35回	毎週1回程度、幼稚園が蔵書している図書を、家庭へ貸出している。	B:想定どおり	各幼稚園の実態に応じて実施しているため。	継続実施	区立幼稚園指導課

【小学生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
22			リサイクル図書の子ども施設での活用	再掲	小・中学校乳幼児	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
29			郷土資料に関する資料の充実・公開・調べ学習支援	郷土資料館が収蔵資料を充実させるとともに、資料のデータベース化とその資料の公開による活用をすすめる。郷土資料の調べ学習に関する電話や窓口におけるレファレンスを行う。	小・中学生	随時	・郷土に関する図書資料（子ども向けを含む）を購入・寄贈等により収集 ・電話や窓口における支援（レファレンス）を実施 ・区ホームページ内の「キッズページ」に区の歴史などを紹介するページを作成 ・郷土資料館に設置している利用者端末にクイズ形式で区の歴史などが楽しめるコンテンツを作成	・生活資料や文書資料、受け入れ図書等約3000件のデータ化を行った。 ・調べ学習のレファレンスに随時対応を行うとともに、企画展「鏡の前の暮らし―身だしなみの道具―」の展示期間中に展示見学「郷土資料館で学ぶ くらしのうつりかわり」を実施し、12校の小学校の見学に対応した。	B:想定どおり	区民の方から寄贈を受けた生活資料や文書資料を適切にデータ化し、必要に応じ、調べ学習のレファレンスや小学校3年生の社会科授業の「むかしのくらし」単元に対応するべく活用しているため。	継続実施	文化デザイン課

30			雑司が谷旧宣教師館の児童図書コーナーの充実	雑司が谷旧宣教師館に児童図書コーナーを設置し、「赤い鳥」等を収集し、見学者の閲覧に供する。	小・中学生	随時	雑司が谷宣教師館でも、児童図書コーナーの運営と「赤い鳥」等の地域に関わる児童図書資料の収集を継続	雑司が谷旧宣教師館の児童図書コーナーで「赤い鳥」をはじめとする児童図書を閲覧に供するとともに、「赤い鳥」を語り継ぐおばあちゃんのおはなし会を毎月実施し、周知を行った。	B:想定どおり	雑司が谷旧宣教師館の入館者における小中学生の割合はまだ少ないのが現状である。おはなし会等を通じて、児童図書コーナーの周知を図っていくため。	継続実施	文化デザイン課
31			小学生向けブックリストの図書コーナーの設置と図書の充実	小学生向けブックリスト『よんでみよう』に掲載した図書のコーナーを全館に設置して、読書活動のきっかけを作る。	小学生	特集展示	12回	2019年度版ブックリスト掲載図書「ねえ、よんで」13冊と「ほんのしまとしま」11冊を常設展示し、利用促進を図った。	B:想定どおり	ブックリスによる推薦と掲載図書展示コーナーとの連携により、図書館がおすすめする本を利用しやすい環境を保持している。	継続実施	図書館課
32			外国語図書等の整備・充実	外国語の絵本や日本人作家の外国語版の図書等を収集・所蔵して、外国人等の図書館利用の利便性を高める。	小・中学生	・外国語の絵本 ・日本の作家の外国語版	全館で購入	全館で韓国語142冊、中国語242冊、英語98冊を購入した。	A:想定以上	東アジア文化都市事業として全館で韓国語と中国語児童書数を増やした。	東京オリンピック開催に向け、継続して収集する。	図書館課
33			郷土に関する図書資料等の収集の充実と提供	豊島区の歴史や民話、豊島区に関わる作家の作品等を積極的に収集・所蔵し、提供する。地域資料のデジタル化を進める。	小・中学生 高校生	郷土資料を収集	収集を継続	としまむかしばなし12点、駒込小学校街歩き地図1点、さくらアートコンテスト駒込中学校卒業記念12点のデジタル化を実施した。	B:想定どおり	地域資料のデジタル化を進めている。	継続実施	図書館課
34	重	28新	オリンピック・パラリンピックに関連づけた読書活動の推進<新規>	オリンピック大会の開催を機会に、世界各国の歴史・文化・習慣などを学び、知識や情報を得るための企画展示や関連図書をすすめて、読書活動を支援する。	小・中学校	企画展示	区立図書館 区立小・中学校	8月25日～9月21日全館で「東京でおもてなし～56年ぶりの夢」でオリンピック関連の図書の特集展示とブックリスト55部を配付した。	B:想定どおり	計画通り企画展示を実施した。	継続実施	図書館課
35			子どもスキップの読書コーナーの充実	子どもスキップの読書コーナーの蔵書を、区立図書館の団体貸出等を活用して充実させ、利用する小学生の読書活動を推進する。	小学生	実施施設数	全てのスキップで実施	読書コーナー図書は、図書ネット便を利用、または子どもたちのリクエスト図書を購入した。 (19施設)	B:想定どおり	図書ネット便を有効活用していた。	継続実施	放課後対策課

36	重		学校図書標準を基準とした学校図書館資料の充実	小中学校の学校図書館の蔵書を、学校図書標準を基準に整備・充実する。	小学生	学校図書標準	70～80%になるように継続	・各学校、学校図書標準の達成に向け、図書の整備充実を図っている。 ・学校図書標準を満たした小学校の割合　82%　22校中18校)	A:想定以上	年度当初の目標70%を達成したため	学校図書標準を達成した小学校が85%を超える。	学務課
					中学生	学校図書標準	70～80%になるように継続	・各学校、学校図書標準の達成に向け、図書の整備充実を図っている。 ・学校図書標準を満たした中学校の割合　100%　8校中8校	A:想定以上	すべての中学校が学校図書館図書標準を達成したため。	生徒数・学級数が増えているが、引き続き学校図書標準を全中学校が達成する。	学務課

【中学生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
29			郷土資料に関する資料の充実・公開・調べ学習支援	再掲	小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	文化デザイン課
30			雑司が谷旧宣教師館の児童図書コーナーの充実	再掲	小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	文化デザイン課
32			外国語図書等の整備・充実	再掲	小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
33			郷土に関する図書資料等の収集の充実と提供	再掲	小・中学生高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
34	重	28新	オリンピック・パラリンピックに関連づけた読書活動の推進＜新規＞	再掲	小・中学校	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課

36	重		学校図書標準を基準とした学校図書館資料の充実	再掲	小学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	学務課
					中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	学務課
37			YAコーナーの図書等の充実・優先閲覧席の設置	区立図書館に10代の子どもの優先閲覧席を整備し、YAコーナーの図書等を充実させる。	中学生・高校生	優先席の設置	全館に優先席を整備	池袋図書館を除く6館で優先席を配置している。	B:想定どおり	池袋図書館は改修工事まで施設内配置上、設置困難である。	池袋図書館は、令和2年度のリニューアル工事でYA優先席を設置予定。	図書館課
38			ジャンプ（東池袋・長崎）の読書コーナーの充実	ジャンプ2施設の読書コーナーを充実させ、利用する中高校生の読書活動を支援する。	中学生・高校生	実施施設数	ジャンプ2施設で実施	・近隣図書館から利用者が興味を持っている分野の本を「団体貸出」にて月1回入替を行った。 ・またボランティアで保育園などに紙芝居などの読み聞かせ体験を行った。	B:想定どおり	受付横にYA図書を置くことで、身近に本を感じられる環境を整えるため。	団体貸出については例年通り行う。 ボランティアの人数を増やしていく。	子ども若者課
39	重		学級文庫の実施・充実	図書委員等が選書した図書を各クラスに備えた学級文庫に設置し、教室で生徒が身近に本に接する環境を整え、読書活動に結びつける。	中学生	学級文庫を設置	8校 （区立中学校）	学級文庫として図書委員おすすめの本10冊を教室置きにし、委員会の度に入れ替えを行った。	B:想定どおり	各学校の実態に応じて実施しているため。	継続実施	指導課 中学校
40			学校図書館廃棄本のリサイクル	学校図書館の蔵書整理により廃棄になる図書のリサイクルコーナーを設置するなどして、生徒にリサイクル本を提供し読書活動につなげる。	中学生	リサイクルコーナーの設置	8校 （区立中学校）	年に1～2回、廃棄本コーナーを設け、希望する生徒に渡すなど、リサイクル活動をした。	B:想定どおり	各学校の実態に応じて実施しているため。	継続実施	指導課 中学校

【高校生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
37			YAコーナーの図書等の充実・優先閲覧席の設置	再掲	中学生 高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
38			ジャンプ（東池袋・長崎）の読書コーナーの充実	再掲	中学生 高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	子ども若者課

【特別な支援を必要とする子ども】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
41			点字図書・録音図書（音声デイジー）・テキストデイジーや点訳絵本等の充実	視覚に障害がある子どものために、ボランティアの協力により点字図書、録音図書（音声デイジー）、テキストデイジーや点訳絵本などを作成・購入して、点字図書館の蔵書を充実する。	特別な支援を必要とする生徒・児童保護者・家庭	①図書資料の充実 ②技術の習得 ③点訳絵本の作成	①点字図書25タイトル ②デイジー図書35タイトル ③点訳絵本10タイトル	受け入れタイトル数 ①点字図書：自館製作36タイトル（内絵本6タイトル）・厚労省委託68タイトル ②デイジー：自館製作96タイトル・厚労省委託51タイトル（内絵本7タイトル ③テキストデイジー：自館製作　20タイトル	A：想定以上	製作ボランティアの協力等により、年間計画数を上回る数を受け入れることができた。	継続実施	図書館課
42	重	28新	マルティメディアデイジーの充実 ＜新規＞	障害があり通常の本では読書が困難な子どものために、マルチメディアデイジーの活用により、読書環境を整備する。	特別な支援を必要とする生徒・児童保護者・家庭	マルティメディアデイジーの充実	貸出回数の拡大	平成30年度以降4館でマルチメディアデイジー図書の提供を行っているが、利用実績はない。	C：工夫や改善必要	周知方法の見直しを行い、活用を促進する必要がある。	継続実施	図書館課

（2）子どもと本をつなぐ施策の施策の充実

【乳幼児】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
43			読書啓発活動の推進	地域の図書ボランティア団体や職員が、乳幼児を対象としたプログラムの読み聞かせ事業を実施する。	ボランティア	ボランティアの受入	22施設	・地域の読み聞かせボランティア事業の開催 22施設中14施設 7団体 に依頼した その他、別の事業の講師が絵本の読み聞かせも取り入れてくれているケースもある。	B：想定どおり	目標どおりであったため。	継続実施	地域区民ひろば課

44	重		**区立図書館読み聞かせボランティア活用による読書環境の充実**	乳幼児のプログラムで開催しているおはなし会に、区立図書館の読み聞かせボランティア派遣を活用する。	乳幼児保護者	読み聞かせボランティアによるおはなし会の開催	22施設	・区立図書館の読み聞かせボランティアの実施 22施設中18施設で実施 落ち着いた語り口調で、利用者も親子で毎回楽しみにしている様子。	B:想定どおり	目標どおりであったため。	継続実施	**地域区民ひろば課 図書館課**
45			**子どものための文化体験プログラムの実施**	アート系NPO 法人と協働して、子どものときに読んでほしい本を題材とした演劇公演を開催する。また、絵本を活用したワークショップや読み芝居による鑑賞教室、絵本を取り入れた保育園派遣型プログラムを実施する。	乳幼児 小・中学生	参加者数	乳幼児900人、小学生以上の区民2,780人	①あうるすぽっとにて、0歳から本格的な舞台を親子で楽しめる子どもに見せたい舞台シリーズを上演。また各区民ひろばで俳優たちが読み聞かせをするよみしばいを実施した。②絵本を取り入れた、アーティストによる派遣型ワークショップを、区内保育園5園で実施した。	B:想定どおり	①メインプログラムである子どもに見せたいシリーズは12回目を迎え、2,000人以上が来場した。よみしばいは、各区民ひろばの協力もあり、今年も年齢層が広い観客層が安定的に集まった。 ②派遣型ワークショップについては、アーティストと触れ合うことで、普段とは違った園児の様子が垣間見え、園からも好評価だった。	①演劇公演「春春～ボムボム～」をあうるすぽっとで、よみしばい「すずむしひめ」を区民ひろば6か所で上演する。 ②絵本を取り入れた保育園派遣型プログラムは、2園で実施する。	**文化デザイン課**
46			**読み聞かせボランティアの養成と子ども施設への派遣**	読み聞かせボランティアを計画的に養成し、人材バンクに登録するとともに、子ども施設への派遣をコーディネイトしてボランティアの活動を支援する。養成後にはスキルの維持向上のためのフォローアップ研修も実施する。	登録ボランティア	・養成(隔年) ・養成人数 ・フォローアップ研修(隔年)	奇数年度は養成講座、偶数年度はフォローアップ研修を隔年で実施 登録者数　60人	養成講座を実施し、ボランティア人材バンクに13名が新規登録した。	A:想定以上	総登録者数が目標の60名を超える62名を確保できた。	登録者数が一定数に達したので、来年度は養成を休止する。	**図書館課**
47			**自主的な読み聞かせボランティアの活動支援**	自主的に活動している読み聞かせボランティアを対象に講習会を実施し、読み聞かせの技術の維持向上を支援する。	区民	講習会	2回	講習会を2回実施した。 7月11日「わらべうた」 74名 2月7日「じゃばら絵本のワークショップ」　54名	B:想定どおり	ボランティアの活動支援となる内容の講習会を、予定どおり2回実施した。	2回実施する。	**図書館課**
48			**「赤ちゃんおはなし会」など乳児向け行事の開催**	乳児と保護者が一緒に楽しむことができる、絵本の読み聞かせやふれあい遊び等の「赤ちゃんおはなし会」を定例的に開催する。	乳幼児	赤ちゃんおはなし会実施回数	事業を継続	乳児のおはなし会 133回 1,801人参加	B:想定どおり	全館で月1回の定期的な開催により参加者が定着している。	継続実施	**図書館課**
49			**おはなし会等幼児向け行事の開催**	定期的な「おはなし会」とともに、子どもと本をつなぐきっかけとなる各種行事を実施する。	幼児・小学生	子ども向けおはなし会	事業を継続	幼児のおはなし会 311回 3,474人参加	B:想定どおり	定期的に幼児向けおはなし会を全館で実施した。	継続実施	**図書館課**

50			**読み聞かせボランティア活用による「親子あそび広場」のプログラムの充実**	ボランティア活用による読み聞かせを実施する。	乳幼児	読み聞かせ回数	225回	＜東部子ども家庭支援センター＞ ・[おはなしもんたん」年12回 ・「豊島親子の読書の会」年6回 ・「中央図書館読み聞かせ」年6回・「リプリント」年6回 〈西部子ども家庭支援センター〉 ・「うりんぼうの読み聞かせ」 年12回実施 ・「ひまわりの読み聞かせ」 年11回実施	B:想定どおり	読み聞かせ実施回数は前年度と大きな増減がないため	継続実施	**子育て支援課**
51	**重**		**絵本のプレゼント実施**	妊娠中から1歳の誕生日までの妊婦向け事業・講座、育児講座等の参加者やバースデイ訪問などで絵本を配布し、読み聞かせや本に触れる機会を作る。	妊婦～1歳	・講座参加者、 ・バースデイ訪問者数	5,500人	＜東西子ども家庭支援センター＞ ・育児訪問事業バースデイ訪問にて対象児に絵本を1冊プレゼント実施。年間993人 ・ウィルカム赤ちゃん、母親学級、スマイル講座、パパの応援講座実施時に配布。 年間474人	B:想定どおり	講座参加者、バースデイ訪問者数合計が前年度と大きな増減がないため	継続実施	**子育て支援課**
52			**絵本の読み聞かせや行事の実施により、ものがたりや知識に触れる機会の充実**	日常の保育の中に絵本の読み聞かせや紙芝居を取り入れ、また、自然を利用した行事を実施することで、想像力を育み、新しい知識を蓄える機会を作る。	園児	読み聞かせや知識の世界に触れる回数	全園で実施	・全園で実施。 ・日常的に絵本や紙芝居などの読み聞かせを行っている。 ・行事の際には、いわれなどの話をすることで、新しい知識に触れる機会を作っている。	B:想定どおり	日常の保育の中での絵本の読み聞かせを継続的にを行っている点や、行事を活用した取組が積極的に行われているため。	継続実施	**保育課**
53			**地域の読書ボランティアの活用**	読書ボランティアを活用したり、小中高校生との読書活動の交流で読書活動を推進する。	中学生・高校生区民	受け入れ交流回数	60回	・87回実施。 ・中学生の職場体験、地域や図書館のボランティアによる読み聞かせを実施した。	A:想定以上	実施回数は87回であり、昨年の57回に比べると大きく伸びたことで目標値を大きく超えたため。	継続実施	**保育課**
54			**保護者による読み聞かせ活動の実施**	「おはなしりんご」など各園のおはなし会で、保護者による読み聞かせを実施する。	全園児	実施回数	園により 5～12回	・各学期2回程度、保護者による読み聞かせを実施した。	B:想定どおり	各幼稚園の実態に応じて実施している。	継続実施	**区立幼稚園指導課**

【小学生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
45			子どものための文化体験プログラムの実施	再掲	小・乳幼児中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	文化デザイン課
55			子ども向け郷土資料の作成支援	地域の昔遊びや豊島の子ども文化、昔話を調査・収集し、地域のボランティアの著作・出版活動を支援する。	小学生	随時	地域のボランティア団体の要請に応た支援を継続	地域に関する問い合わせ等に随時対応を行った。	C：工夫や改善必要	地域の昔遊びや豊島の子ども文化を伝えていくことは区の重要な責務であるが、聞き取り調査ができる方の把握が十分にできていない。また現状著作・出版活動の支援も行っていない。	必要に応じて対応していく。	文化デザイン課
56	重		小学生向け行事の実施	定例的なおはなし会の他、季節にちなんだ「スペシャルおはなし会」や「映画会」、「工作会」等、子どもと本をつなぐ様々な行事を開催する。	小学生	全館で実施	毎年度実施	・全館共通事業 5回　2,767人 ・工作会 33回　624人 ・映画会 16回　335人 ・その他行事 54回　2,660人	B：想定どおり	各種新規イベントを開催し、小学生の来館に繋げた。	イベント内容や開催日程などを検討して、継続実施する。	図書館課
57			学校訪問・学級招待・職場体験等による学校支援	学校訪問・学級招待・職場体験等を通じて、図書館の仕事や利用方法の紹介をするとともに、本の読み聞かせやブックトークなどで本を紹介して読書活動推進のきっかけづくりも行う。	小・中学生	【小学生】 ・学校訪問 ・学級招待 【中学生】 ・職場体験	【小学生】 ・学校訪問　128回 ・学級招待　9回 【中学生】 ・職場体験　70人	小学生の学校訪問152回、学級招待14回の学校サービスを行った。	A：想定以上	目標値を上回る各種学校サービスを実施した。	継続実施	図書館課
58			児童読書情報交換コーナーの充実	図書館利用者との読書情報交換のための掲示板を設置する。掲示板には、館内に設置した利用者の意見箱から収集した図書や読書に関する意見を掲示し、情報を提供し読書活動につなげる。	小学生	情報交換コーナーの設置を継続する。	情報交換コーナーを継続	おすすめ本紹介カードを掲示するとともに、紹介の図書を展示することで貸出を促進した。	B：想定どおり	紹介カードの図書を展示することで、相乗効果があった。	継続実施	図書館課

59	重	28新	読書通帳の配布 ＜新規＞	読書通帳を作成し、区立図書館を利用する小中学生を対象に希望者に配布し、読書活動促進のきっかけづくりを行う。	小・中学生	区立図書館	配布冊数	読書ノート678冊、読書通帳255冊を配布した。	C：工夫や改善必要	読書ノート・読書通帳の配付冊数が前年度の50％以下に減少した。イベント開催時の配布や周知方法の見直しが必要である。	継続実施	図書館課
60			読書の楽しさを伝える各種事業の実施	「子どもスキップ」の事業や放課後子ども教室のプログラムで、読み聞かせやストーリーテリングなどのおはなし会を開催し、読書の楽しさを啓発し、本と結びつけるきっかけづくりを行う。	小学生	実施施設数	全てのスキップで実施	子どもスキップ事業や子ども教室のプログラムでおはなし教室を開催 （15施設）	B：想定どおり	定期的に放課後子ども教室でおはなし会を開催した。	継続実施	放課後対策課
61			地域の読書ボランティア活用によるおはなし会の開催	子どもスキップや放課後子ども教室のプログラムや事業において、地域の読書ボランティアを受け入れて読み聞かせなどのおはなし会を実施し、読書活動を推進する。	小学生	実施施設数	全てのスキップで実施	子どもスキップや子ども教室の事業として地域のボランティアを受け入れておはなし会開催 （18施設）	B：想定どおり	地域のボランティア方に来てもらいおはなし会を開催した。	継続実施	放課後対策課
62	重		学校司書の配置	学校図書館に専門的な知識・経験を有する学校図書司書を配置し、資料管理や調べ学習など授業支援を充実させる。	小学生	配置日数	22校（区立小学校） 週2日	・28年度より図書館課所属の非常勤職員を一部の学校図書館に配置し、29年度から全校に非常勤職員を配置した。	A：想定以上	委託職員に比べ1日の配置時間が増え、より教職員との連携が図れたため。	継続実施	指導課 小学校
63		28新	学校図書館への区立図書館司書の活用 ＜新規＞	区立図書館の図書館司書（非常勤職員）を区立小・中学校の学校図書館司書として活用し、学校図書館の運営や児童・生徒の読書活動を支援する。さらに、図書館資料の教員への情報提供と多面的な学校支援を展開する。	小・中学生	小学校配置 中学校配置	29年度 区立中学校8校派遣	平成29年度に区立小・中学校全校に区立図書館司書を配置し、平成30年度に図書館課から指導課へ図書館司書を移管した。	E：事業終了	事業終了	30年度に指導課へ移管により事業終了	図書館課 指導課
64			読書習慣の形成	「朝読書」「読書の時間」、学校独自の読書推進期間の設定などにより、学校活動における読書時間の確保と読書活動の習慣の確立を支援する。	小学生	全校一斉の読書活動の実施	月1校	・校内での読み聞かせ活動 ・図書委員会による読書紹介 ・栄養士と連携した「お話給食」の実施 ・「図書館だより」の発行	B：想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	指導課 小学校

65			図書委員会活動による読書活動の推進	図書委員会活動を活発にし、図書委員の主体的で継続的な読書活動により学校図書館の利用を促進する。	小学生	各校の実態に応じた活動を実施	各校の実態に応じた活動を実施	・常時活動して、図書館の本の整備、新着図書の紹介一マに沿った本の紹介など、自主的な活動を推進している。	B:想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	小学校指導課
	重	29新	読書ノートの配付による読書活動促進	区立図書館に利用登録のある小学生を対象に、読書ノートを配付することで、子どもの読書習慣促進のきっかけをつくる。	小学生	・図書館利用登録者数 ・区立図書館図書貸出冊数	毎年度実施	・利用登録者10,722人 ・図書貸出冊数364,976冊	A:想定以上	登録者数及び貸出冊数が前年度比で増加した。読書ノート等の配付による新規登録への勧奨を進める。	継続実施	図書館課

【中学生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
45			子どものための文化体験プログラムの実施	再掲	小・乳幼児・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	文化デザイン課
66	重		学校訪問・職場体験等による学校支援	学校訪問・学級招待・職場体験等を通じて、図書館の仕事や利用方法の紹介をするとともに、本の読み聞かせやブックトークなどで本を紹介して読書活動推進のきっかけづくりも行う。	小・中学生	【小学生】 ・学校訪問 ・学級招待 【中学生】 ・職場体験	【小学生】 ・学校訪問　128回 ・学級招待　9回 【中学生】 ・職場体験　70人	中学生108人の職場体験を実施した。	A:想定以上	各種学校サービスを実施が、目標値を上回った。	継続実施	図書館課
67			YA読書情報交換コーナーの充実	図書館利用者との読書情報交換のための掲示板を設置する。掲示板には、館内に設置した利用者の意見箱から収集した図書や読書に関する意見を掲示し、情報を提供し読書活動につなげる。	中学生・高校生	情報交換コーナーの設置を継続する。	情報交換コーナーを継続	情報掲示板を活用して利用者からの読書情報を提供している。	B:想定どおり	利用者からの情報提供が継続的にあり、情報掲示板が活用されている。	継続実施	図書館課
59	重	28新	読書通帳の配布＜新規＞	再掲	小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課

68	重	28新	YA向け読書活動促進行事の実施（仕掛け絵本のワークショップ）＜新規＞	ワークショップを開催して仕掛け絵本の立体的なしくみや紙の絵本の魅力を感じてもらい、各種行事を通じて読書意欲や読書活動への動機づけを行う。	中学生・高校生	ポップアップカードのワークショップ開催	毎年度1回実施	ポップアップカードのワークショップを1回開催した。	B:想定どおり	行事を通じて読書活動への動機づけを行った。	継続実施	図書館課
69	重		学校司書の配置	学校図書館に専門的な知識・経験を有する学校図書司書を配置し、資料管理や調べ学習など授業支援を充実させる。	中学生	配置日数	8校（区立中学校）週1日	・28年度より図書館課所属の非常勤職員を一部の学校図書館に配置し、29年度から全校に非常勤職員を配置した。	B:想定どおり	委託職員に比べ1日の配置時間が増え、より教職員との連携が図れたため。	継続実施	指導課中学校
70	重	28新	学校図書館への区立図書館司書の活用＜新規＞	区立図書館の図書館司書（非常勤職員）を区立小中学校の学校図書館司書として活用し、学校図書館の運営や児童・生徒の読書活動を支援する。さらに、図書館資料の教員への情報提供と多面的な学校支援を展開する。	小・中学生	小学校配置 中学校配置	29年度 区立中学校8校派遣	平成29年度に区立小・中学校全校に区立図書館司書を配置し、平成30年度に図書館課から指導課へ図書館司書を移管した。	E:事業終了	事業終了	30年度に指導課へ移管により事業終了	図書館課 指導課
71	重		読書習慣の確立	朝、学級活動前の10分間の朝読書活動を継続的に実施するなど、読書習慣の確立を支援する。	中学生	全校一斉の読書活動の実施	月1回	・全校生徒が本の紹介カードを記入し、全作品が図書室や廊下に掲示されている。 ・国語の授業ないで朝の読書で読んだ本のブックトークを実施している。	B:想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	指導課中学校
72	重		ビブリオバトル等実施による読書活動の促進	授業や図書委員会のイベントとしてビブリオバトル等を実施するなど、読書の感想を伝える場を設定して読書活動の推進と学校図書館利用を促進する。	中学生	本を読んで思ったことを伝える授業やイベント等を実施	8校 （区立中学校）	・国語の授業で、ビブリオバトルを実施した。	B:想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	指導課中学校

73	重		図書委員会活動による読書活動の推進	図書委員会活動を活発にし、図書委員の主体的で継続的な読書活動により学校図書館の利用を促進する。	中学生	各校の実態に応じた活動を実施	各校の実態に応じた活動を実施	・学級文庫として図書委員おすすめの本10冊を教室置きにし、委員会の度に入れ替えを行っている。 ・図書委員会で、しおりを作成し、本を借りた人、または上半期下半期などでクラス中一番多く借りた人などに、プレゼントしている。 ・国語科の授業で、おすすめの本を紹介したり、よく本を読んでいる人を紹介したりした。 ・本にブッカーをつけ、生徒用に和紙でカバーやしおりを作ったり、朝読書用のクラス設置本を毎月選んで入れ替えたり、ポスターやポップを作成し校内に掲示したりしている。	B:想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	中学校指導課
74	重	28新	プライベート読書時間の設定 ＜新規＞	プライベートな時間に、一定の時間や時間帯を〔読書の時間〕と決めて、読書することを生徒に推奨して読書習慣の形成を促す。	中学生	図書だよりの発行	学期ごとに1回発行	一定の時間や時間帯を〔読書の時間〕と決めて読書する。	B:想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	中学校指導課

【高校生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
67			YA読書情報交換コーナーの充実	再掲	中学生高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
75	重	28新	YA向け読書活動促進行事の実施(ビブリオバトル) ＜新規＞	仕掛け絵本のわーきショップや高校生を対象としたビブリオバトルなど、各種行事を通じて読書意欲や読書活動への動機づけを行う。	中学生・高校生	ワークショップ・ビブリオバトル	毎年度1回実施	ビブリオバトルを1回実施した。	B:想定どおり	行事を通じて読書活動への動機づけを行った。	1回開催する。	図書館課
76	重		学校訪問によるブックトーク等の実施	高等学校の要請により学校訪問を行い、ブックトークなどで10代に人気のおすすめ本を紹介し、図書館の利用や読書の動機づけを行う。	高校生	学校訪問	高等学校からの要請	0回	C:工夫や改善必要	申込がなかった。	学校からの申込を受付ける。	図書館課

【特別な支援を必要とする子ども】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
77			点訳・音訳・対面朗読サービスの実施	障害のある子どもからの申請に基づき、蔵書にないリクエスト資料について、ボランティアによる点訳・音訳・対面朗読サービスを実施する。	特別な支援を必要とする生徒・児童保護者・家庭	①図書資料の充実 ②技術の習得 ③点訳絵本の作成	①点字図書　25タイトル ②デイジー図書35タイトル ③点訳絵本　10タイトル	プライベート製作数 ①点字図書3タイトル ②デイジー図書1タイトル ③絵本作成 点訳絵本6タイトル・デイジー絵本7タイトル ④対面朗読：132人実施	A：想定以上	情報提供施設として障害のある子どもの要望に応じ、点訳資料を製作した。	継続実施	図書館課
78			点字図書館や点訳図書等の普及・啓発	通常学級の子どもを対象に、職場体験等のプログラムで点字図書館の業務内容を組み込んだり、夏休みに開催する点字教室で点字体験をする機会を設けるなどして点字図書館や視覚障害者への理解を深めるきっかけづくりをする。	小・中学生	・学校訪問・学級招待 ・中学生職場体験 ・特別支援学校の職場体験	・小学校　3校 ・中学校　2校 ・特別支援学校　1校	子ども点字教室 8月4日開催 参加14名 学校訪問 小学校　1校（点字教室を実施） 職場体験 中学校 1校 盲学校等11校	B：想定どおり	子ども点字教室については、定員を上回る申込みがあった。また、教室終了後は、希望者に施設見学も実施した。 学校訪問についても例年複数の申し込みがある。	継続実施	図書館課
79			特別な支援を必要とする子どものための読書機会の提供	区立小・中学校の特別支援学級や大塚ろう学校に学校訪問して、読書のきっかけづくりを行うとともに団体貸出を実施する。	小・中学校	・学校訪問 ・団体貸出	学校からの要請	・小学校 職場体験　1回 団体貸出　18回、259冊 学校訪問　2回 ブックトーク　2回 ・大塚ろう学校 団体貸出　7回、238冊	A：想定以上	実績値が前年度を上回った。	継続実施	図書館課
80		28新	マルティメディアデイジー活用による読書支援＜新規＞	区立小・中学校の特別支援学級への団体貸出に、マルチメディアデイジーを活用して読書支援を行う。	小・中学校	・団体貸出	団体貸出回数の拡大	マルチメディアデイジーの資料整備が未実施	D：未実施	未検討	資料収集を検討する。	図書館課
81			特別な支援を必要とする子どもの読書活動の充実	乳幼児発達支援事業の療育活動において、絵本読み聞かせ等の読書活動を実施する。	障害児	通所指導時の読み聞かせ回数	2,400回	〈西部子ども家庭支援センター〉 発達支援事業 通所指導開所日数述べ464日 フォローグループ開所日数 延べ70日 合計年間延べ534日	B：想定どおり	開所日数、療育活動の中の読み聞かせの頻度については変わらないため	継続実施	子育て支援課

（3）区立図書館の活用を推進するための諸施策

【乳幼児】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
82			「としょねっと」便の運行	区立幼稚園、区立小・中学校、区内六大学へ交換便を運行して、図書館の図書貸出利用の利便を図り、読書活動を促進する。	幼児・小・中学生大学生	運行回数	週2回の運行を継続	区立幼稚園、区立小・中学校、区内六大学へ85回、子どもスキップと区民ひろば（12施設）へ各12回、図書運搬便を運行した。	B:想定どおり	年間のスケジュールどおりの日程で運行した。	令和元年度は区民ひろば22施設で図書ネット便による図書を配送予定。	図書館課
83			団体登録貸出制度による児童書の貸出	団体登録貸出により、保育園、幼稚園、区立小・中学校、その他子ども施設へテーマ別リクエストによる児童書の貸出をする。小・中学校へは団体貸出セットの貸出も実施する。	保育園・幼稚園・小・中学生	団体貸出回数	保育園・幼稚園80回	幼稚園・保育園へ691回の団体貸出を行った。	A:想定以上	保育園の施設数増加に伴い保育園への団体貸出回数が増加している。	継続実施	図書館課
84			乳幼児向けブックリストの配布	0～2歳児向け、3～6歳児向けブックリストを作成し、図書館で配布するほか、保育園、幼稚園や関係施設に配布して読書活動を啓発し、区立図書館の利用促進に結びつける。	保護者	配付先施設数（保育園、幼稚園、区民ひろば、保健所）	88所	129施設（区民ひろば、子ども家庭支援センター、保健所、保育園、幼稚園）へブックリストを送付した。	A:想定以上	保育園の増加により、配布施設数が増加した。	毎年度改訂し、継続して発行する。	図書館課
85			子ども向け図書館ホームページの充実	図書館ホームページの「こどもページ」と「10代のためのページ」を充実し、推薦図書の紹介、催し物の案内、調べ学習に関する情報等を掲載し、図書館利用や図書資料の利用を活発にする。	乳幼児・小・中学生高校生	特集棚の紹介をする	毎月（YAは隔月）	毎月（YAは隔月）特集展示内容をHPで紹介した。	B:想定どおり	ホームページへの掲載によるPRで、図書館利用を促進した。	継続実施	図書館課
		30新	図書ネット便活用による区民ひろばへの団体貸出	区民ひろばを利用する乳幼児向けの絵本を図書館司書が選定し、毎月図書ネット便で配送することで読書活動を支援する。	乳幼児・小学生	・利用施設数 ・貸出回数	毎年度実施	新規事業として12施設へ、団体貸出図書を11回配送した。	B:想定どおり	計画どお2施設のり試行から12施設で本格実施となった。	来年度は、22施設で本格実施をする。	地域区民ひろば課 図書館課

【小学生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
82			「としょねっと」便の運行	再掲	幼児・小・中学生大学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
85			子ども向け図書館ホームページの充実	再掲	乳幼児・小・中学生高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
86			団体登録制度による児童書の貸出	団体登録貸出により、保育園、幼稚園、区立小・中学校、その他子ども施設へテーマ別リクエストによる児童書の貸出をする。小・中学校へは団体貸出セットの貸出も実施する。	保育園・幼稚園小・中学生	団体貸出回数	小学校1,000回 中学校24回	小学校へ1,319回、中学校へ63回、その他の施設へ24回の団体貸出を行った。	A:想定以上	小・中学校への学校図書館司書配置により、貸出回数が増加した。	継続実施	図書館課
87			ブックリストの配布	小学生,中・高校生向けブックリストを作成し、図書館で配布するほか、区立小・中学校や関係施設に配布して読書活動を啓発し、図書館の利用促進に結びつける。	小・中学生高校生	区立小学校、中学校に配布	・区立小学校全校児童 ・区立中学校全校生徒	4月に区立中学校全校生徒、7月に区立小学校全校児童にブックリストを配付した。	B:想定どおり	毎年改定し配布することで、読書活動を啓発する。	継続実施	図書館課
		30新	図書ネット便活用による子どもスキップへの団体貸出	子どもスキップからのリクエストに応じた図書を毎月図書ネット便で配送し、児童の読書活動を充実させる。	小学生	・利用施設数 ・貸出回数	30年度　13施設 31年度　16施設 32年度　19施設 各年度　11回	新規事業としてリクエスト申込による団体貸出を18施設、年間11回配送した。	A:想定以上	放課後対策課の要望に基づき、全施設への図書配送を本格実施した。利用施設数が目標値を上回った。	継続実施	放課後対策課 図書館課

【中学生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
82			「としょねっと」便の運行	再掲	幼児・小・中学生大学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
85			子ども向け図書館ホームページの充実	再掲	乳幼児・小・中学生高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
86			団体登録制度による児童書の貸出	再掲	保育園・幼稚園小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
87			ブックリストの配布	再掲	中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課

【高校生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（28～32年度）	実施状況（30年度）	所管課の評価	評価理由	31以降の実施予定	課名
85			子ども向け図書館ホームページの充実	再掲	乳幼児・小・中学生高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
87			ブックリストの配布	再掲	高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課

A：想定以上
B：想定どおり
C：工夫や改善必要
D：未実施
E：事業終了

別表　３

【　新規事業の計画　】

平成31年度

Ⅱ　子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実

（2）子どもと本をつなぐ施策の施策の充実

事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画（29～32年度）	課名
南池袋公園ブックシェルフ用図書の展示	南池袋公園のブックシェルフに絵本を展示し、公園を利用する乳幼児、児童、保護者・保育園等が気軽に読み聞かせができる環境を整備し、子どもの読書活動を推進する。	保護者・乳幼児	おはなし会実施回数 参加者数	毎年度実施	図書館課

豊島区子ども読書活動推進計画（第四次）・豊島区図書館基本計画　策定スケジュール

	項目	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		R元年度										R2年度											
子ども読書活動推進計画（第四次）策定	子ども読書活動推進計画 各課進捗状況	調査						HP公表						調査			HP公表						
	区民読書活動実態調査				調査	分析	報告書作成																
	計画（案）作成									第3次・調査結果検証		骨子案作成		素案作成						パブコメ	案作成		
図書館基本計画	図書館基本計画 進捗状況	調査						HP公表						調査			HP公表						
	区民読書活動実態調査				調査	分析	報告書作成																
	計画（案）作成									第3次・調査結果検証		骨子案作成		素案作成						パブコメ	案作成		
会議体	図書館経営協議会		第1回					第2回		第3回				第1回			第2回		第3回			第4回	
	教育委員会			○				○		○							○		○			○	
	子ども読書活動推進会議	第1回				第2回				第3回			第1回				第2回		第3回			第4回	
	子ども読書活動推進会議〔計画作業部会〕													第1回			第2回	第3回			第4回		

計画策定

	図書館基本計画〔計画作業部会〕												第1回		第2回		第3回		第4回		第5回		

図書館システム更改に伴う年始休館日の延長について

１．図書館システム更改による休館について

（１）理由：リース期間（５年間）満了による図書館システム更改作業により、貸出返却作業ができないため、また、更改するシステムのテストが必要なため

（２）期間：令和元年１２月２９日（日）～令和２年１月１３日（月）

通常の年末年始の休館日：令和元年１２月２９日（日）～令和２年１月４日（土）

システム更改に伴う休館日：令和２年１月５日（日）～１月１３日（月）

※この間の貸出期間を通常の２週間から最大４週間に延長する

また、返却は、全館のブックポストで対応する

図書館ＨＰは１２月２８日終了後「メンテナンス中」の表示をし、検索予約等利用中止

（３）対象館：全７館（中央、駒込、巣鴨、上池袋、池袋、目白、千早）、

雑司が谷図書貸出コーナー

２．図書館システム更改による新たな機能

（１）図書館ホームページに英語、中国語、韓国語の言語対応

（２）図書館ホームページに視覚障害者にも配慮した、音声読み上げ機能を導入

（３）マイページのお気に入り、読書記録に評価・コメント機能を導入

（４）検索機能の向上

①もしかして検索（検索にヒットしない場合に予測を表示）

②関連キーワード検索の表示

③資料詳細画面に、関連がある（又は思われる）資料の表示

④同義語の検索用メニューを導入し、類語での検索が可能

３．周知方法について

（１）図書館の掲示やチラシ配布

（２）広報としま（12月1日号）、区ホームページ及び図書館ホームページ

（３）近隣の公共施設や学校にポスター掲示